

いざというときの連絡先

名 称	電話番号	名 称	電話番号
警察	110	美里町役場南郷庁舎	0229-58-1211
火災・救急	119	美里町水道事業所	0229-33-2775
遠田警察署	0229-33-2321	東北電力(停電時)	0120-175-366
遠田消防署	0229-43-2351	NTT(故障・不具合時)	113 (固定電話から)
美里町役場本庁舎	0229-33-2111(代)		0120-444-113 (携帯などから)
防災行政無線 放送内容の確認	0229-32-5915		

災害時の連絡方法

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

災害用伝言ダイヤル 171

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。

体験利用日

毎月1日・15日、正月三が日、および防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)

伝言の録音方法

ガイダンスが流れます

1 171をダイヤル

2 1を押す

3 被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤルしてください

4 伝言を録音する

被災地内の方も、被災地以外の方も

伝言の再生方法

171をダイヤル

1 2を押す

2 2を押す

3 3を押す

4 伝言を再生する

ガイダンスが流れます

災害用伝言板(web171) <https://www.web171.jp/> ← 左記URLへアクセスし、案内に従って操作してください

スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板(web171)にアクセスすることで、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。*体験利用日は、災害用伝言ダイヤルと同様です。

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

非常持ち出し品・備蓄品

避難所で用意できるものには限りがあります。避難生活に必要なものは、できる限り自分で用意しておきましょう。

非常持ち出し品の例

☐ ヘルメット(防災ずきん)

☐ 飲料水(500mlペットボトル程度)

☐ 食糧
アルファ米、チョコレート、ビスケット、缶切り不要の缶詰など

☐ 懐中電灯・予備の電池

☐ 携帯ラジオ

☐ 救急医薬品

☐ 常備薬

☐ ろうそく

☐ ライター

☐ ティッシュ、トイレットペーパー

☐ 洗面用具

☐ スポーツタオル

☐ 筆記用具

☐ 貴重品
健康保険証、運転免許証、マイナンバーカード、預貯金通帳、現金(小銭は多目に)、印鑑など

☐ 軍手

☐ ポリ袋(ビニール袋)

☐ 使い捨てカイロ

☐ 衣類(下着・セーターなど)

☐ ロープ

☐ 育児用品(紙おむつ・粉ミルク等)

☐ 石鹸

☐ 使い捨て食器

☐ 携帯ナイフ

☐ ドライシャンプー

備蓄品の例

☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安に)

☐ 毛布または寝袋

☐ ブルーシート(敷物、雨よけ用)

☐ 食糧
アルファ米、レトルト食品、乾パン、缶切り不要の缶詰など

☐ 菓子類

☐ 割り箸

☐ 衣類(下着、セーターなど)

☐ 新聞紙

☐ なべ

☐ カセットコンロ(予備のガスボンベ)

☐ 簡易トイレ(携帯トイレ)

☐ 布製ガムテープ

☐ キッチン用ラップ

☐ 紙おむつ

☐ 粉ミルク

☐ 生理用品

参考：国土交通省発行『水害ハザードマップ作成の手引き』

▶いざというときのために取り出しやすい場所に保管しておきましょう。

保存版 (令和7年7月)

美里町
洪水・土砂災害
ハザードマップ

美里町では、住民のみなさんに防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、「美里町 洪水・土砂災害ハザードマップ」を作成しました。自宅・学校・職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのか、また、最寄りの避難所・避難場所や避難経路の確認など、家庭や地域内での防災の取り組みにご活用ください。

防災メモ

家族みんなで避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、ここに書き込みましょう。避難先までにかかった時間や危険なところなどをチェックし、安全で避難しやすい経路を確認しましょう。

避難所・避難場所

第1候補	第2候補	第3候補
避難所・避難場所までの危険箇所	避難所・避難場所までの危険箇所	避難所・避難場所までの危険箇所
歩いて避難した場合にかかった時間	歩いて避難した場合にかかった時間	歩いて避難した場合にかかった時間
分	分	分

家族の連絡先

名 前	生年月日	血液型	会社や学校の連絡先	携帯電話番号

洪水・土砂災害の発生

洪水の発生するしくみ

洪水には、降った雨が水路などで排水しきれなくなることにより起こる「内水氾濫」と、川の堤防が壊れたり堤防から水があふれたりして発生する「外水氾濫」があります。まずは、洪水の発生するしくみを理解して、避難所等まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。



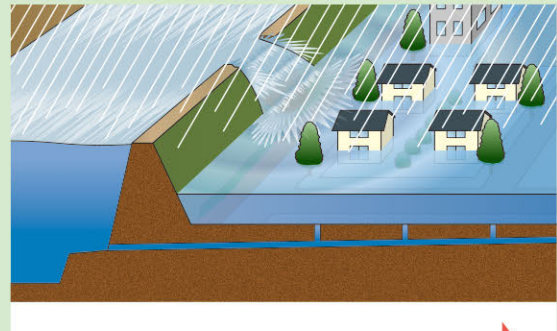
通常

通常、降った雨は水路などを通じて河川へ排水されています。



内水氾濫の発生

大雨が降り、排水能力が雨量に追いつけなかった場合に、内水氾濫が起こり始めます。



外水氾濫の発生

さらに雨が激しく降ると、堤防から水があふれたりする外水氾濫の危険性が高まります。

その場で雨が降ってなくても、川の上流で降った大雨により、下流で氾濫が発生することがあります。

土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。次ページに示したような前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、役場へご連絡ください。

土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りではどのタイプの土砂災害が発生するのか、確認しておきましょう。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多くなります。

土石流

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。

地すべり

土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域

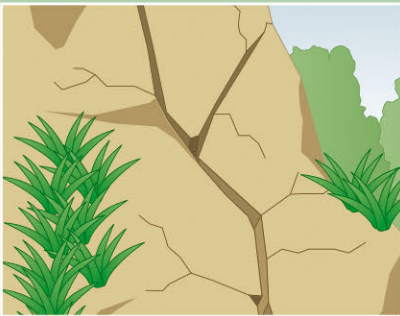
大雨や長雨等により雨水が地面にしみ込み、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。

雨の強さと降り方

	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	10～20mm未満	20～30mm未満	30～50mm未満	50～80mm未満	80mm以上
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	●ザーザーと降る。	●どしゃ降り。	●バケツをひっくり返したように降る。	●滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。
人への影響と屋外の様子	●地面からはね返りで足元がぬれる。 ●水たまりができる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●地面一面に水たまりができる。	●傘をさしていてもぬれる。 ●道路が川のようになる。	●傘はまったく役に立たなくなる。 ●水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
災害の危険性	●この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	●側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。 ●小規模のがけ崩れのおそれがある。	●山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	●土石流が起こりやすい。 ●多くの災害が発生する。	●雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生する場合もあります。

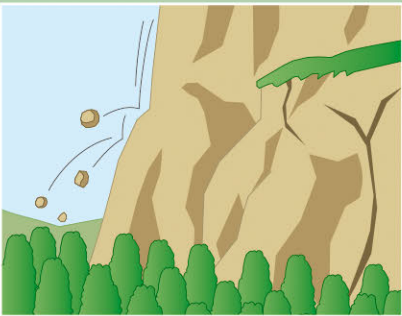
このような現象が土砂災害の前ぶれです



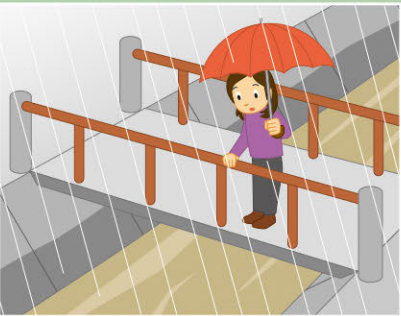
斜面にひび割れができる。



わき水の量が増える。



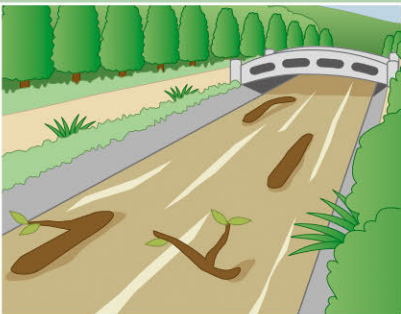
がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてくる。



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



地鳴りの音が聞こえてくる。



川が濁ったり、流木がまざりはじめる。



がけから出る水が濁る。



斜面から水が噴き出る。

災害時の情報

警戒レベルと避難情報

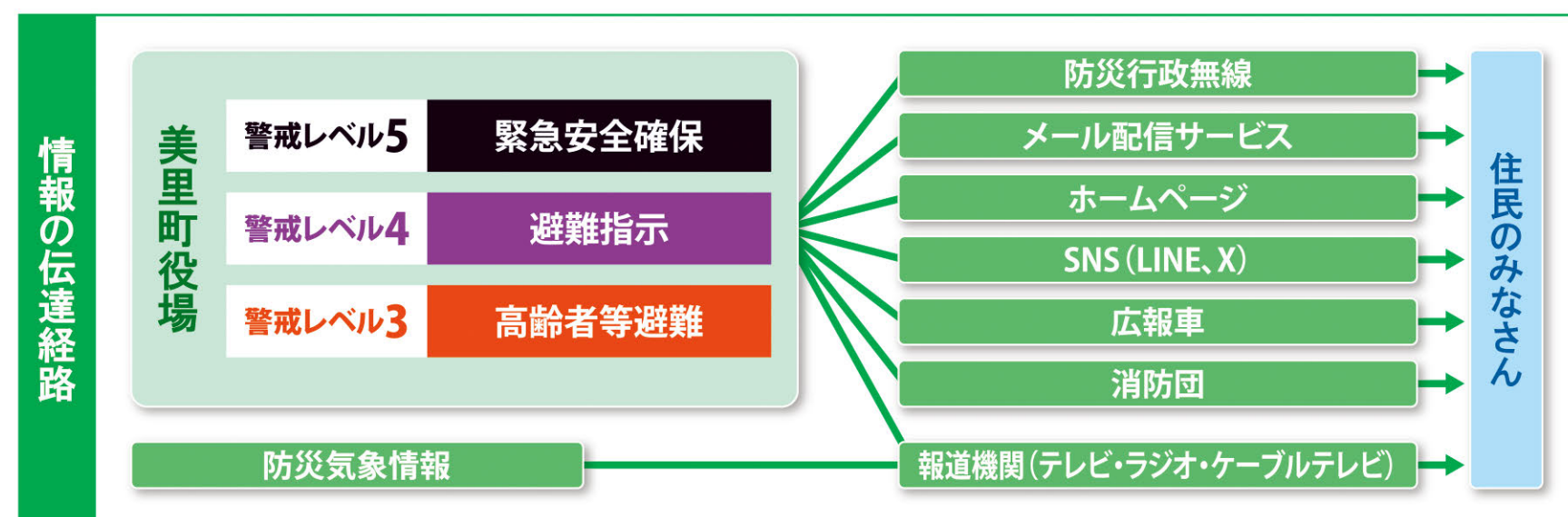
令和3年5月から、とるべき行動を明確にする形で避難情報の種類が変更されました。警戒レベル4の避難指示が発令されたら、すぐに危険な場所から避難してください。

警戒レベル (町が発令)	避難情報	状況	とるべき行動
5	緊急安全確保※	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！ ●命を守るため、自宅や近隣の建物で緊急的に安全確保してください。
警戒レベル4までに必ず避難！			
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 ●危険な場所から全員避難してください。 ●屋内で安全確保できると自ら判断できる場合は垂直避難も可能です。
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ●高齢者等の避難に時間を要する人やその支援者は避難してください。 ●高齢者等以外の人も、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)	気象状況悪化	自らの避難行動を確認 ●ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。 ●災害想定区域、避難場所や経路、避難のタイミングを確認してください。
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める ●最新の防災気象情報などを確認しましょう。

※災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5の緊急安全確保は必ず発令されるものではありません。

情報の伝達経路

町からの避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



発表されたら厳重な警戒を！ 土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報とは、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、宮城県と仙台管区気象台が共同で発表する情報です。

土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、町からの情報を入手して避難してください。また、土砂災害警戒区域内にいる場合は、ただちに避難してください。

※土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあります。



大雨・洪水に関する注意報、警報

大雨による危険が迫った場合、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。警報の基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合は、「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表されます。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。	大雨 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表されます。 洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されます。	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表されます。 「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。

⚠️「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります

●大雨などのときには、テレビやラジオなどで最新の注意報・警報・特別警報の発表状況を確認するようにしましょう。
気象庁ホームページ (<https://www.jma.go.jp/>) でも確認できます。

インターネットによる情報入手先

NHK防災アプリ等でも河川の状況などを確認できます

美里町

美里町の防災情報・避難情報の提供。

▶ <https://www.town.misato.miyagi.jp/>



重ねるハザードマップ(ハザードマップポータルサイト)

洪水・土砂災害などのリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

▶ <https://disaportal.gsi.go.jp/>



仙台管区気象台

気象に関する警報・注意報を市町村ごとに発表。

▶ <https://www.data.jma.go.jp/sendai/index.html>



宮城県砂防総合情報システム

土砂災害警戒情報などを確認できます。

▶ <https://www.doshasaigai.pref.miyagi.jp/midski/>



国土交通省 川の防災情報

川の水位や状況、洪水予報が発表されている地域を確認できます。

▶ <https://www.river.go.jp/>



宮城県防災情報ポータル

防災気象情報などを提供。

▶ <https://miyagi-bousai.secure.force.com/>



宮城県 河川流域情報システム

田尻川、出来川、美女川などの水位や、名鱈水位観測所などのカメラ映像が確認できます。

▶ パソコンから
<https://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi/servlet/Gamen1Servlet>
▶ スマートフォンから
https://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi_sp/



線状降水帯に関する情報

線状降水帯に関する情報には2種類あります。

【線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ】

大雨災害発生の危険度が急激に高まることもあるため、心構えを一段高めてください。

【顕著な大雨に関する気象情報】

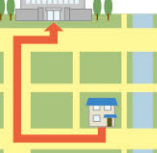
大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続けている状況です。町からの避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとってください。

これらの情報が発令された場合、町から避難情報が発令されていない場合でも、キキクル(危険度分布)や大雨警報、水位情報等の情報を確認し、少しでも危険を感じた際は自ら避難の判断をすることも重要です。

避難について知っておこう

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

 状況により、すばやく避難しましょう 避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。	 浸水時、自動車での避難は危険 普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。
 浸水時に長靴は厳禁 避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。	 家族には連絡メモを残そう 外出中の家族には、「どこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。
 避難時はブレーカーを切りましょう 避難の際は、浸水による漏電や、電気火災の予防のためブレーカーを切ってから避難しましょう。	 集団で助け合おう 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
 持ち出し品は最小限に 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。	 安全なルートで避難 避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

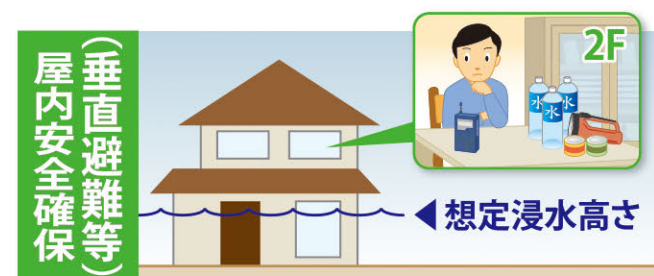
避難行動(立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保)

水害や土砂災害の避難行動は、ためらわず災害リスクのない安全な場所へ早めに「**立退き避難(水平避難)**」することが基本です。また、浸水しない自宅の上階への避難や上層階にとどまる「**屋内安全確保(垂直避難等)**」により身の安全を確保することも有効です。立退き避難を行う必要があるにもかかわらず、適切なタイミングで避難することができなかった場合などは、少しでも浸水しにくい高い場所やがけから離れた場所に避難し、身の安全を可能な限り確保する「**緊急安全確保**」を行ってください。

計画的な避難行動

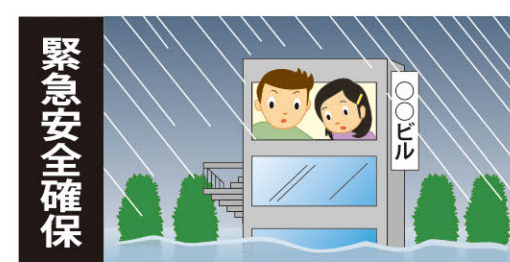


避難行動の基本です。



長時間の孤立に備え、水、食料などを備蓄しておきましょう。

緊急的な避難行動



逃げ遅れた場合の行動です。身の安全を確保できるとは限りません。

浸水後の避難 やむを得ず移動する場合は…



▶ 歩ける深さ

浸水時に歩ける深さは膝くらいまで。腰まで浸かって歩くと体力を消耗します。また、水深20cm位でも、流れが速い場合は危険を伴うことがあるので注意が必要です。

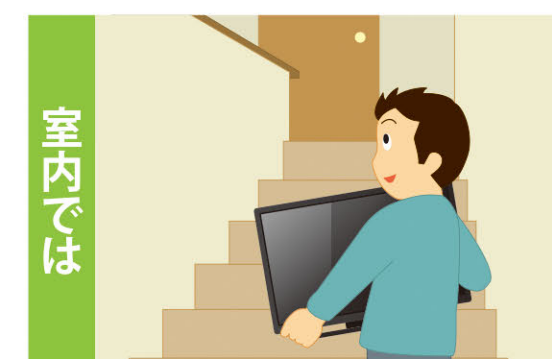


▶ 足元に注意

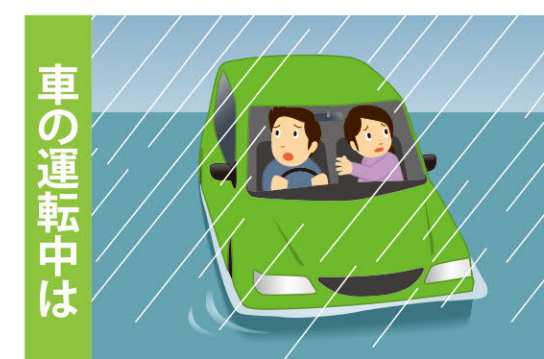
浸水により足下が見えにくくなることで、道路と側溝や水路等の区別がつかなくなります。長い棒などで深い場所がないか安全を確認しながら歩きましょう。

大雨が降りそうなときは…

雨が強まってきたら、まずテレビやラジオ、インターネット等で発表される気象庁からの注意報・警報・特別警報や、市区町村などからの避難に関する情報に注意しましょう。不要不急の外出は控え、危険な場所には近づかないようにしましょう。



- 床下・床上浸水の危険があります。家財道具や貴重品を高い場所に移動しておきましょう。
- 地下には避難しないようにしましょう。



- 豪雨で視界が悪くなると非常に危険です。あせらずに高台に移動しましょう。
- 浸水でエンストしたときは、無理に再始動させるとエンジンを傷めてしまいます。



- 急な増水や土砂災害の危険があるので、河川敷から堤防の外に移動しましょう。
- 雨が降っていないくても、サイレンなどの警報が聞こえたら、すぐ退避しましょう。

土砂災害から身を守るためのポイント

● 危険度の確認〈住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認〉

土砂災害発生のおそれのある場所は「土砂災害(特別)警戒区域」とされています。あらかじめ自分の家が土砂災害(特別)警戒区域にあるかどうか、ハザードマップや県のホームページなどで確認しましょう。

● 情報の入手〈雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意〉

雨が降り出したら、「土砂災害警戒情報」に注意してください。テレビやラジオの気象情報で発表されるほか、気象庁や、町のホームページで確認できます。▶**長雨や豪雨に注意…急に強い雨が降ってきたときや、ずっと雨が降り続けているときには、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。**

● 早めの避難〈危険を感じたら早めに避難〉

お年寄りや障がいのある人など避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めに避難させることが大事です。また、土砂災害の多くは木造住宅の1階で被災しています。どうしても避難場所への移動が困難なときは、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。



危険を感じたら、ただちに避難! 局地的大雨(ゲリラ豪雨)

近年、急激に発達した積乱雲に伴う局地的な大雨(ゲリラ豪雨)による痛ましい事故が起こっています。このような事故は、雨による災害への警戒・注意を促す大雨警報・注意報に至らないような雨量でも起こることがありますので、川の中や川の近くにいるときは注意が必要です。遊んでいる子どもや工事の作業員は、周囲の状況の変化に気付きにくいので、保護者や監督者は危険を感じたら、すぐに避難を呼びかけましょう。総雨量は少なくとも、十数分の短い時間で甚大な被害が発生することがあります。

洪水・土砂災害ハザードマップ

テレビやパソコンで現在の河川の状況を確認できます

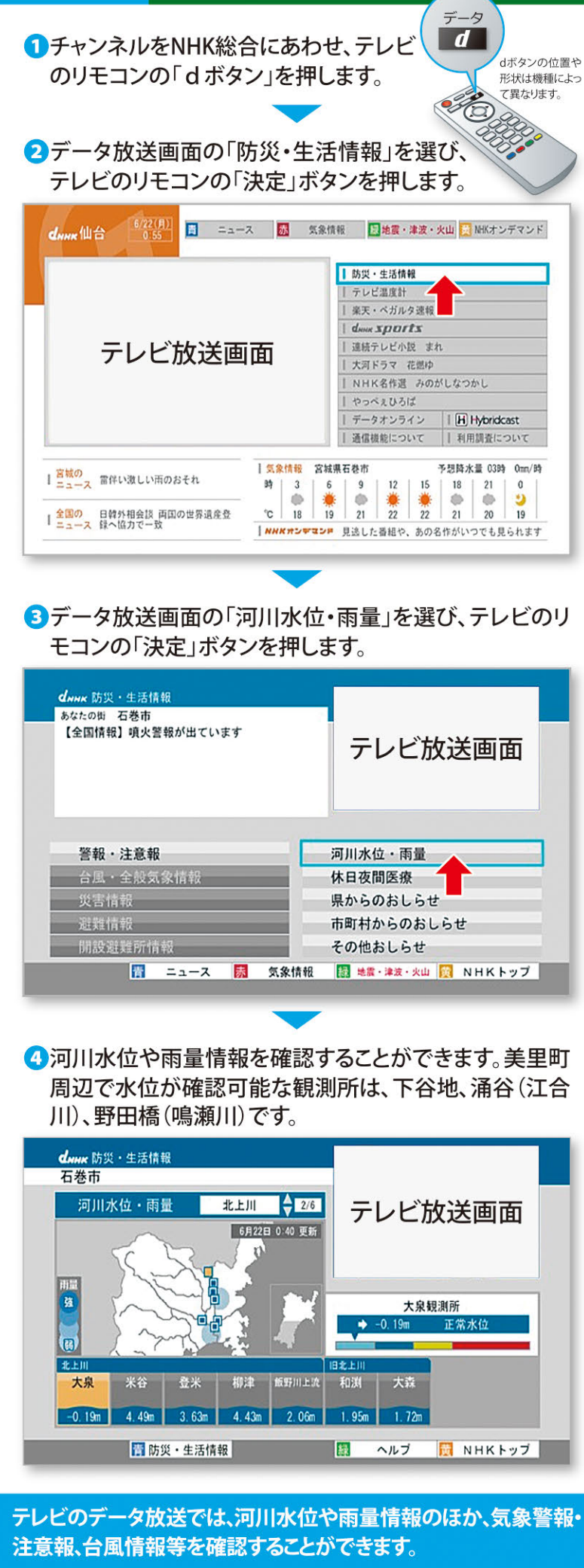
テレビ (データ放送)で 河川水位・雨量情報 を確認する場合

1 チャンネルをNHK総合にあわせ、テレビのリモコンの「d ボタン」を押します。
dボタンの位置や形状は機種によって異なります。

2 データ放送画面の「防災・生活情報」を選び、テレビのリモコンの「決定」ボタンを押します。

3 データ放送画面の「河川水位・雨量」を選び、テレビのリモコンの「決定」ボタンを押します。

4 河川水位や雨量情報を確認することができます。美里町周辺で水位が確認可能な観測所は、下谷地、涌谷(江合川)、野田橋(鳴瀬川)です。



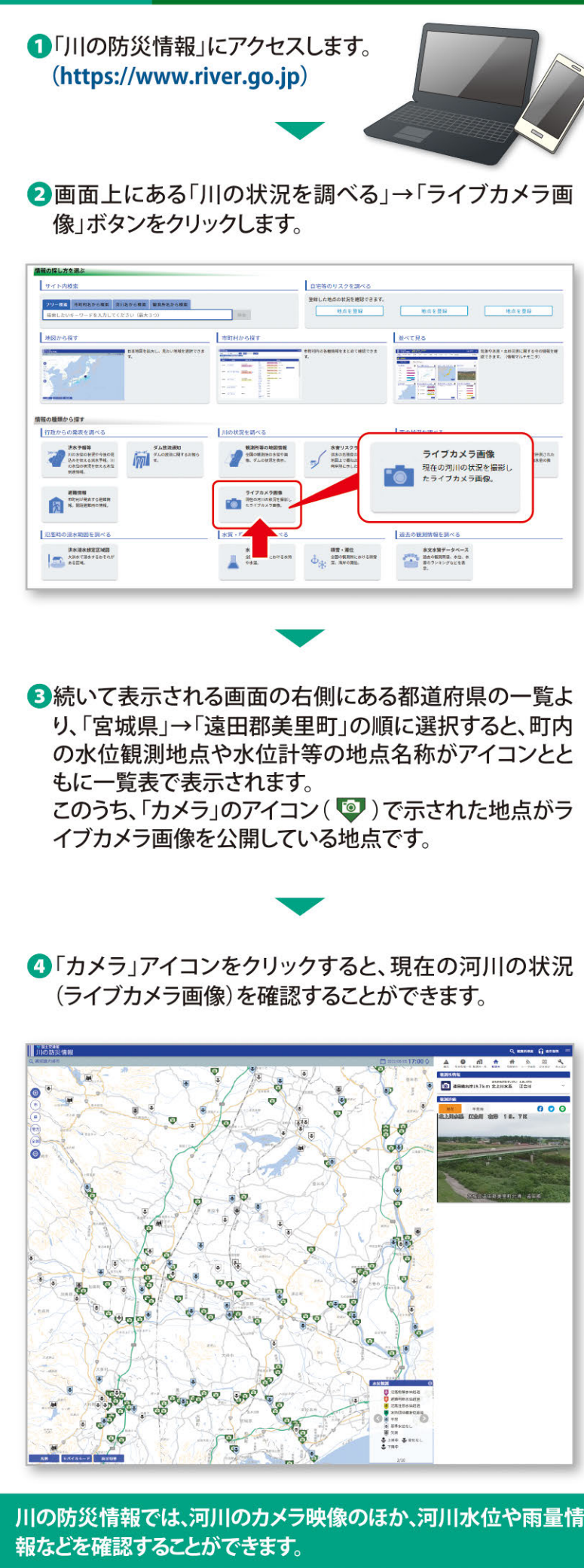
パソコン (インターネット)で 河川の状況(カメラ映像)を確認する場合

1 「川の防災情報」にアクセスします。
(<https://www.river.go.jp>)

2 画面上にある「川の状況を調べる」→「ライブカメラ画像」ボタンをクリックします。

3 続いて表示される画面の右側にある都道府県の一覧より、「宮城県」→「遠田郡美里町」の順に選択すると、町内の水位観測地点や水位計等の地点名称がアイコンとともに一覧表で表示されます。
このうち、「カメラ」のアイコン(📷)で示された地点がライブカメラ画像を公開している地点です。

4 「カメラ」アイコンをクリックすると、現在の河川の状況(ライブカメラ画像)を確認することができます。



マイ・タイムラインをつくらう

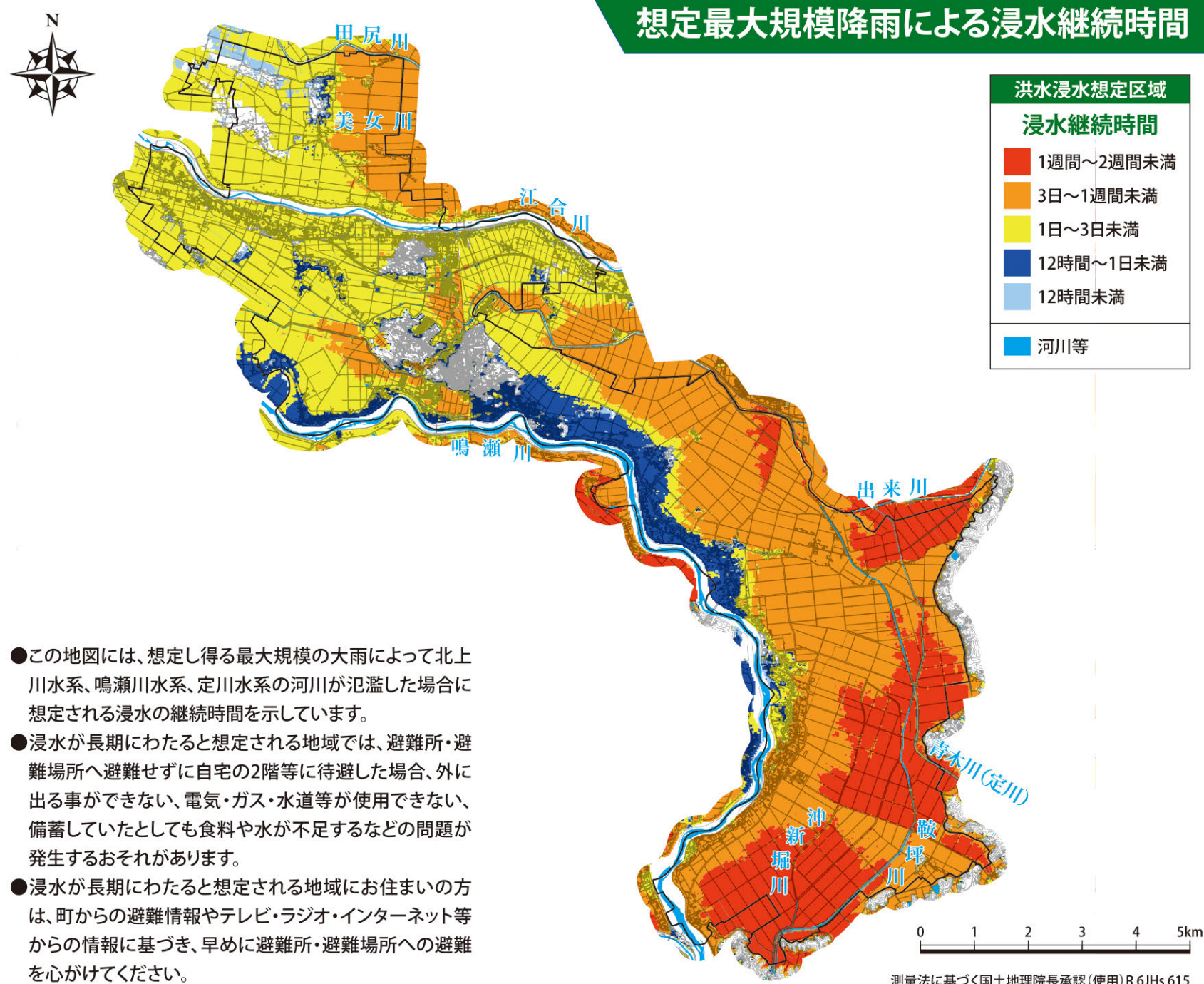
洪水などの災害が発生する前に安全な場所へ移動するためには、大雨が降る前から、あらかじめ「いつ、何をするのか」整理しておくがスムーズです。「マイ・タイムライン」を活用して、洪水時の行動を整理しておきましょう。

気象・避難情報		あらかじめ確認しておくこと／行動内容		
平 常 時	日頃から	☐ ハザードマップで自分の住んでいる場所の災害リスクを確認		
		自宅が ●浸水想定区域内に ☐ ある(浸水深 m) ☐ ない ●土砂災害(特別)警戒区域内に ☐ ある ☐ ない		
		☐ 避難する場所の確認		
		●避難する場所： ●移動時間： 分 ●移動方法：		
		☐ 避難の際、支援が必要な家族・知人の確認 ●名前： 電話番号： ●名前： 電話番号： ☐ 避難の際、支援してくれる人の確認 ●名前： 電話番号： ●名前： 電話番号： ☐ 非常持ち出し袋を準備		
大 雨 の お そ れ	災害発生数日前〜前日	大雨や 台風接近の予報	☐ 非常持ち出し品リストの確認 ☐ 1週間分の常備薬を確保 ☐ テレビの天気予報を確認 ☐ 家族の今後の予定を確認	☐ 防災情報の取得方法を確認 テレビdボタン ☐ 親類や知人宅への避難を検討
		警戒レベル1 早期注意情報		
避 難 開 始 時 期	災害発生当日	警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報	☐ ハザードマップを確認 ☐ 避難しやすい服装に着替える ☐ 携帯電話を充電しておく	☐ ☐ ☐ ☐
		大雨警報、洪水警報 氾濫警戒情報	☐ 川の水位や雨量(住んでいるところと その上流)を確認	☐ ☐ ☐ ☐
		警戒レベル3 高齢者等避難	☐ 川の水位をインターネット等で確認 ☐ テレビ等で洪水予報を確認	☐ ☐ ☐ ☐
		氾濫危険情報 土砂災害警戒情報	☐ 避難場所等への避難を完了	☐
災 害 発 生	災害発生	警戒レベル4 避難指示	避難が必要な方はこの時点までに全員、安全な場所に避難完了するよう行動を!	
		氾濫発生情報 大雨特別警報	※避難が完了していない場合は直ちに避難開始	
		警戒レベル5 緊急安全確保	※外に出ることが危険な場合は、建物内の安全な場所で身の安全を確保する	

洪水・土砂災害ハザードマップ

浸水継続時間について

想定最大規模降雨による浸水継続時間



セーフティタワー一覧

名称(場所)	所在地	掲載ページ	名称(場所)	所在地	掲載ページ
健康福祉センターさるびあ館	牛飼字新町51	P.19	青生コミュニティセンター	青生字和谷地175-1	P.22
下小牛田コミュニティセンター	南小牛田字下小牛田屋敷37-1	P.20	農村婦人の家県道向かい	和多田沼字辻地内	P.25
素山公園(旧駅前地区センター)	字桜木町91	P.19	赤谷運動公園	練牛字赤谷二13	P.30
旧不動堂中学校南側	字志賀殿72	P.23	大柳児童遊園	大柳字東境7	P.29
関根団地チビッコ広場	北浦字二又8-37	P.13	美里町役場南郷庁舎前駐車場	木間塚字中央1	P.30
北浦コミュニティセンター	北浦字道祖神前7-5	P.18	佐野運動公園	二郷字佐野六号144-1	P.34
美里町役場本庁舎職員駐車場	北浦字駒米13	P.19	砂山公会堂	二郷字砂山川原19	P.33
中埴コミュニティセンター	中埴字卯時3-9	P.14			

指定避難所・指定緊急避難場所・福祉避難所一覧

指定避難所及び指定緊急避難場所

指定避難所：災害により家屋が倒壊等した被災者が、寝食のため滞在できる施設です。
指定緊急避難場所：災害の危険から一時的に避難して身の安全を確保する場所です。

名称(施設名)	所在地(住所)	指定避難所	指定緊急避難場所	掲載ページ	利用区分		
					地震	水害	土砂災害
小牛田小学校	牛飼字清水江220	●	●	P.19	○	2F↑	○
こごた幼稚園	北浦字中新田142	●	●	P.18	○	×	○
健康福祉センターさるびあ館	牛飼字新町51	●	●	P.19	○	○	○
本小牛田コミュニティセンター	南小牛田字下小牛田屋敷37-1	●	●	P.20	○	×	○
下小牛田コミュニティセンター	南小牛田字下小牛田屋敷37-1	●	●	P.20	○	×	○
宮城県小牛田農林高等学校	牛飼字伊勢堂裏30	●	●	P.19	○	2F↑	○
牛飼公園	牛飼字川原8	●	●	P.19	○	×	○
不動堂小学校	字峯山12-1	●	●	P.24	○	○	○
ふどうどう幼稚園	字志賀町三丁目2-1	●	●	P.23	○	×	○
不動堂放課後児童クラブ	字峯山12-1	●	●	P.24	○	○	○
美里中学校	字新峯山8-1	●	●	P.19	○	○	○
駅東地域交流センター	駅東二丁目17-4	●	●	P.19	○	○	○
小牛田公園	字桜木町69-20	●	●	P.19/P.23	○	○	○
鶴頭公園	字西館28-1	●	●	P.24	○	○	○
北浦小学校	北浦字浦田上129	●	●	P.18	○	2F↑	○
北浦コミュニティセンター	北浦字道祖神7-5	●	●	P.18	○	×	○
中央コミュニティセンター	北浦字駒米13	●	●	P.19	○	○	○
笹館集会所	北浦字山前1-5	●	●	P.19	○	○	○
宮城県立支援学校小牛田高等学園	北浦字船入1	●	●	P.19	○	2F↑	○
北浦西部白寿館	関根字道明46-8	●	●	P.13	○	×	○
蜂谷森公園	北浦字蜂谷森112	●	●	P.19	○	○	○
小牛田駅前公園	北浦一丁目53	●	●	P.19	○	×	○
山前史跡公園	北浦字山前53-2	●	●	P.19	○	○	○
中埴小学校	荻埴字朝日壇78	●	●	P.14	○	2F↑	○
中埴コミュニティセンター	中埴字卯時3-9	●	●	P.14	○	×	○
中埴運動場	中埴字新境目1	●	●	P.14	○	×	○
青生小学校	青生字中ノ橋128-1	●	●	P.22	○	2F↑	○
青生コミュニティセンター	青生字和谷地175-1	●	●	P.22	○	×	○
農村婦人の家	和多田沼字蛭田原一75-1	●	●	P.25	○	×	○
南郷小学校	木間塚字高田5	●	●	P.30	○	2F↑	○
南郷放課後児童クラブ	木間塚字高田5	●	●	P.30	○	×	○
旧南郷中学校校舎・校庭	木間塚字高田66	●	●	P.30	○	2F↑	○
南郷体育館	木間塚字高田33	●	●	P.30	○	2F↑	○
南郷第二体育館	木間塚字高田66	●	●	P.30	○	×	○
南郷武道場	木間塚字高田66	●	●	P.30	○	×	○
活き生きセンター	木間塚字原田5	●	●	P.30	○	2F↑	○
農村環境改善センター	木間塚字高田33	●	●	P.30	○	2F↑	○
慶半コミュニティセンター	二郷字慶半35	●	●	P.34	○	×	○
町営二郷第一住宅集会所	二郷字佐野六号12-1	●	●	P.34	○	×	○
下二郷コミュニティセンター	二郷字蔵人主二号10	●	●	P.33	○	×	○
小島集落センター	二郷字蛇沼向809	●	●	P.35	○	×	○
宮城県南郷高等学校	大柳字天神原7	●	●	P.29	○	2F↑	○
鳥谷坂運動公園	字鳥谷坂一33	●	●	P.27	○	×	○
旧練牛小学校	練牛字八号32	●	●	P.25	○	×	○
赤谷運動公園	練牛字赤谷二13	●	●	P.30	○	×	○
大柳運動公園	大柳字宮前38	●	●	P.29	○	×	○
南郷運動場	木間塚字高田33	●	●	P.30	○	×	○
二郷塩釜神社境内	二郷字慶半35	●	●	P.34	○	×	○
佐野運動公園	二郷字佐野六号144-1	●	●	P.34	○	×	○
下二郷運動公園	二郷字砂山東9-1	●	●	P.33	○	×	○
小島運動場	二郷字小島809	●	●	P.35	○	×	○

福祉避難所

指定避難所での生活が困難で特別な配慮を必要とする方を対象に開設する二次的避難所です。

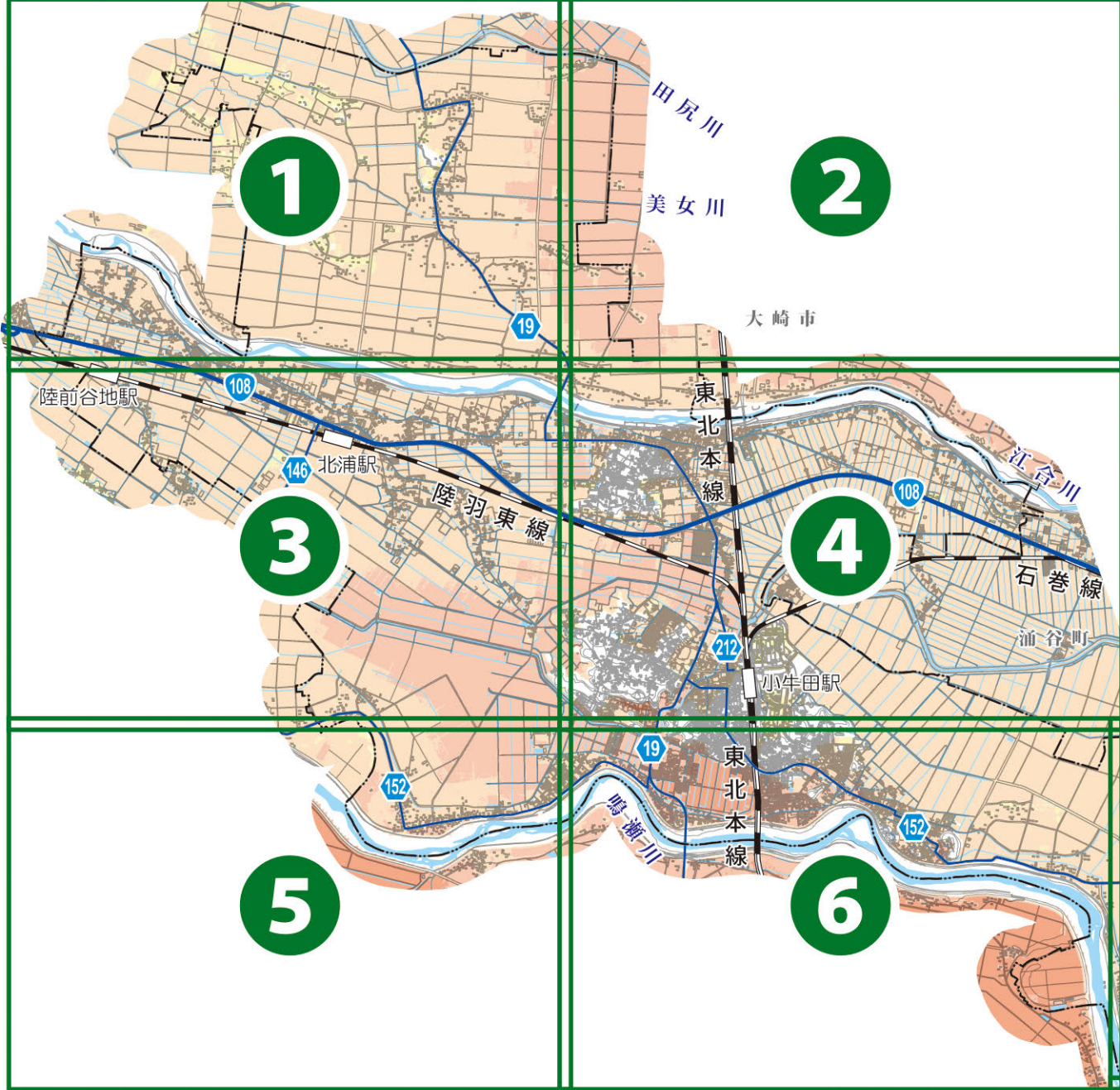
名称(施設名)	所在地(住所)	掲載ページ	利用区分			名称(施設名)	所在地(住所)	掲載ページ	利用区分		
			地震	水害	土砂災害				地震	水害	土砂災害
グループホーム歩風楽	牛飼字牛飼38-1	P.19	○	○	○	介護付き有料老人ホームのぞみ	中埴字上戸35-1	P.14	○	×	○
介護老人福祉施設 みさとの杜翔裕園	駅東二丁目17-5	P.19	○	○	○	指定障害福祉サービス事業所 わはわ美里	青生字中ノ橋173	P.22	○	×	○
養護老人ホームひばり園	駅東二丁目17-3	P.19	○	○	○	デイサービスセンターあおう	青生字的場60-6	P.23	○	×	○
美里花笑みライズ	北浦字蛇沼4-1	P.18	○	×	○	障害者日中活動支援施設 のぎく	練牛字十二号48-1	P.29	○	×	○
グループホームたんぽぽ	北浦字米谷73-3	P.18	○	×	○	特別養護老人ホーム いなほの里	木間塚字原田7	P.30	○	×	○
デイサービスたんぽぽ美里	北浦字蓮沼35-1	P.18	○	×	○	なんどうデイサービスセンター	木間塚字原田7	P.30	○	×	○
共同生活援助ヌーヴェルメゾンなかぞね三番館	中埴字上戸33-2	P.14	○	×	○						

〈利用区分〉○＝利用可能 ×＝利用不可 2F↑＝2階以上のみ利用可能

洪水浸水想定区域

浸水深

- 10.0m～20.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0.5m未満



洪水・土砂災害ハザードマップについて

- 13ページ以降に示した地図には、大雨によって北上川水系、鳴瀬川水系、定川水系の河川が氾濫した場合に想定される浸水区域と、土砂災害のおそれのある区域、避難施設などの防災情報を掲載しています。
- 浸水については、国土交通省及び宮城県が公表した、洪水浸水想定区域図を重ね合わせ、それぞれの地点で最大となる浸水深を表示しています。
- 洪水浸水想定区域は、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況、浸水継続時間、氾濫流や河岸侵食により家屋が倒壊するおそれのある区域をシミュレーションにより求めています。支川の決壊による氾濫やシミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等は考慮していません。
- 土砂災害については、宮城県が指定した土砂災害警戒区域・特別警戒区域のうち、町に關係する区域のみを表示しています。
- 地図で示した洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域以外でも浸水や土砂災害が発生する場合がありますので、注意してください。

水害の種類と避難行動		
早期に立退き避難が必要な区域	河岸侵食	河岸侵食で家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
	氾濫流	堤防決壊等に伴う氾濫流で木造家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
	家屋が水没するおそれのある区域	2階以上が浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。
その他の洪水浸水想定区域		床上・床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましい状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保でも良い。
洪水浸水想定区域外		浸水のおそれはないが、洪水浸水想定区域内の住民等が避難してくるため、避難の手助けを行う。

【洪水浸水想定区域図の前提条件】

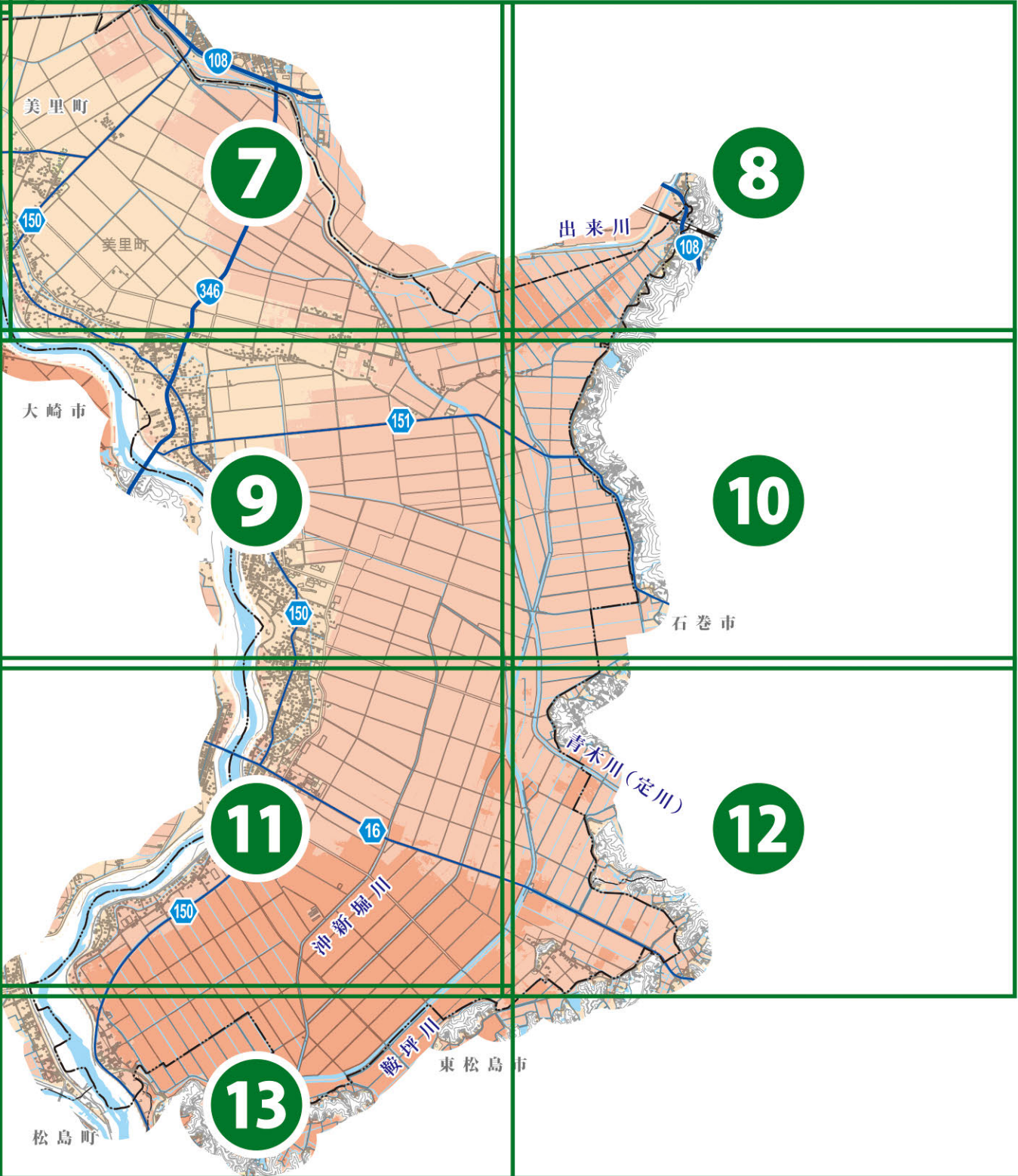
洪水浸水想定区域図の名称	作成主体	指定年月日 又は作成年月日	指定又は公表の 前提となる降雨
1 北上川水系江合川、新江合川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)	国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所	平成28年6月30日	江合川流域において 想定し得る最大規模の降雨
2 鳴瀬川水系鳴瀬川、鞍坪川、多田川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)	国土交通省 東北地方整備局 北上川下流河川事務所	平成28年6月30日	鳴瀬川流域において 想定し得る最大規模の降雨
3 北上川水系江合川、田尻川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)	宮城県	平成30年5月29日	江合川、田尻川流域において 想定し得る最大規模の降雨
4 北上川水系出来川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)	宮城県	令和3年5月31日	出来川流域において 想定し得る最大規模の降雨
5 鳴瀬川水系沖新堀川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)	宮城県	令和4年3月15日	沖新堀川流域において 想定し得る最大規模の降雨
6 鳴瀬川水系鞍坪川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)	宮城県	令和4年3月15日	鞍坪川流域において 想定し得る最大規模の降雨
7 定川水系定川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)	宮城県	令和4年3月15日	定川、定川上流域において 想定し得る最大規模の降雨
8 北上川水系美女川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)	宮城県	令和5年5月30日	田尻川流域において 想定し得る最大規模の降雨

- 洪水浸水想定区域図は水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される浸水深を示した図面です。なお、3、4の洪水浸水想定区域図は、水防法に基づき指定された洪水浸水想定区域図に加え、より広域な水害の危険性をお知らせするための参考図面です。
- 洪水浸水想定区域図は、指定又は作成時点における対象河川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う浸水により対象河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※より詳しくお知りになりたい方は、国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所ホームページ、宮城県土木部河川課のホームページをご確認ください。

国土交通省東北地方整備局
北上川下流河川事務所
<https://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/>

宮城県土木部河川課
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/>



洪水・土砂災害ハザードマップ①

索引図

洪水浸水想定区域

浸水深

10.0m～20.0m未満

5.0m～10.0m未満

3.0m～5.0m未満

0.5m～3.0m未満

0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

河岸侵食

氾濫流

H20.9.7の美女川による浸水箇所

●浸水深の目安●

5.0m以上

3.0～5.0m未満

0.5～3.0m未満

0.5m未満

施設等凡例

指定緊急避難場所

指定避難所

福祉避難所

消防

警察

医療機関 (歯科、眼科を除く)

美里町役場 (本庁舎・南郷庁舎)

鳴子ダム放流警報所

水位観測所

雨量観測所

防災行政無線

地下道・アンダーパス

セーフティタワー

河川カメラ

国道

県道

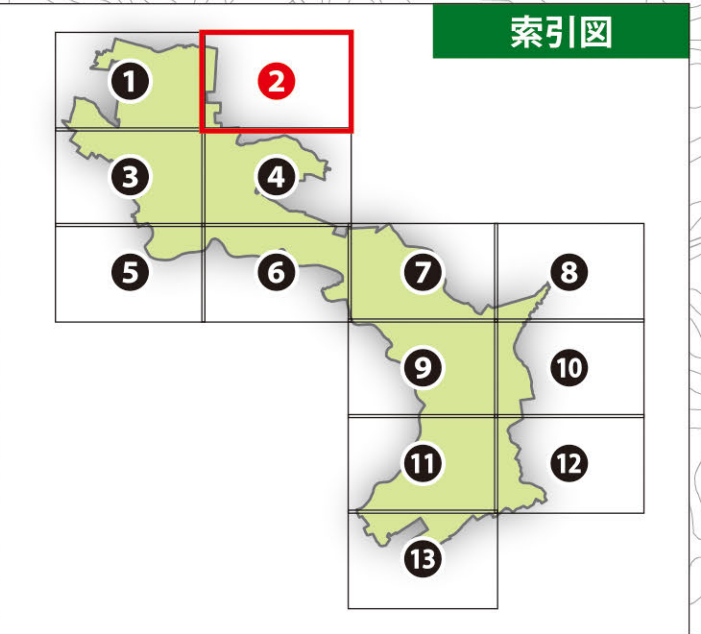
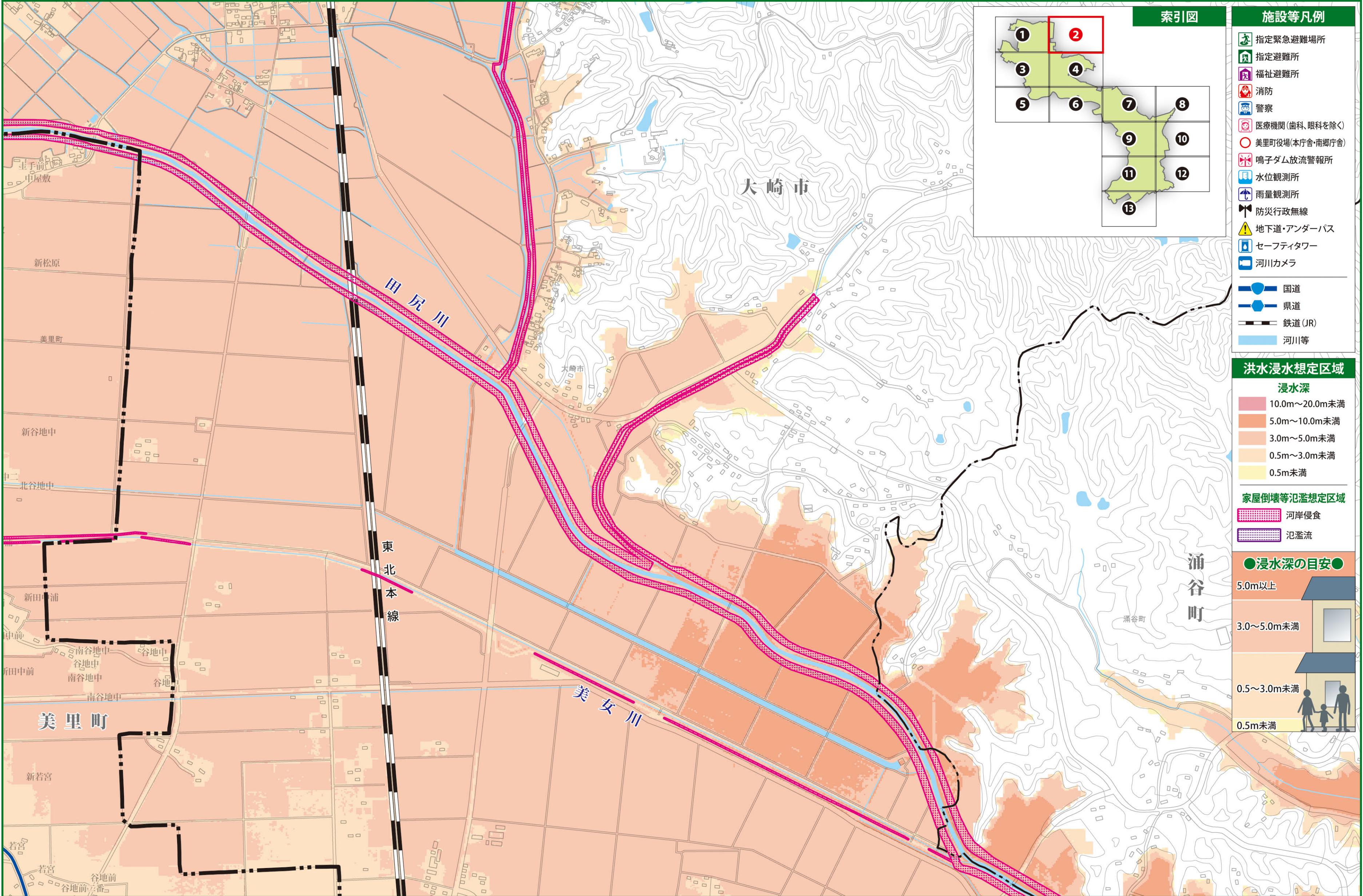
鉄道 (JR)

河川等

13

14

洪水・土砂災害ハザードマップ②



索引図

- 施設等凡例
- 指定緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 消防
 - 警察
 - 医療機関(歯科、眼科を除く)
 - 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
 - 鳴子ダム放流警報所
 - 水位観測所
 - 雨量観測所
 - 防災行政無線
 - 地下道・アンダーパス
 - セーフティタワー
 - 河川カメラ
 - 国道
 - 県道
 - 鉄道(JR)
 - 河川等

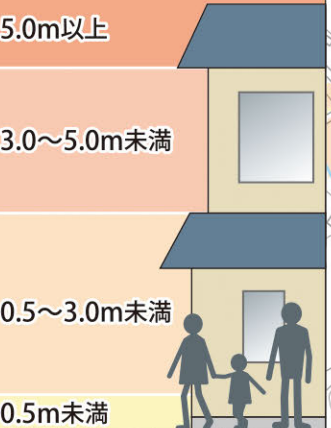
洪水浸水想定区域

- 浸水深
- 10.0m～20.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

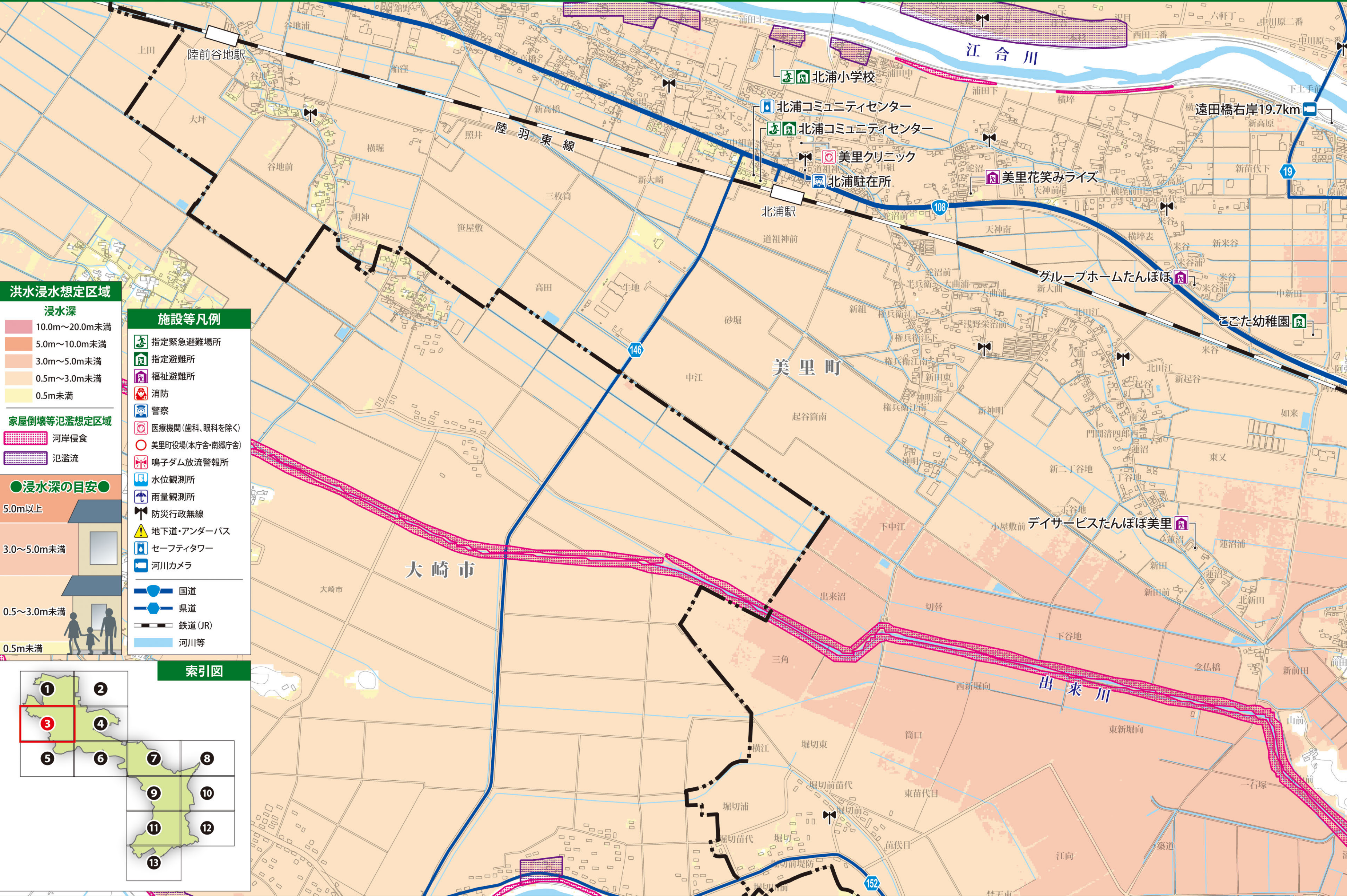
- 河岸侵食
- 氾濫流

●浸水深の目安●



洪水・土砂災害ハザードマップ③

測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 6JHs 615
※地形図更新時期 令和6年4月1日～令和6年10月1日
S = 1 : 10,000
0 100 200 300 400 500m



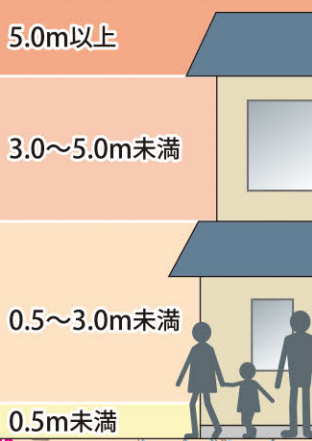
洪水浸水想定区域

- 浸水深
- 10.0m～20.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

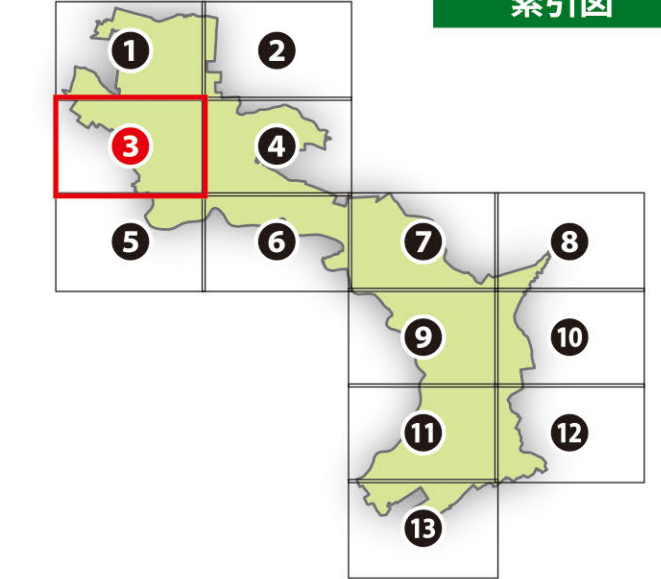
●浸水深の目安●



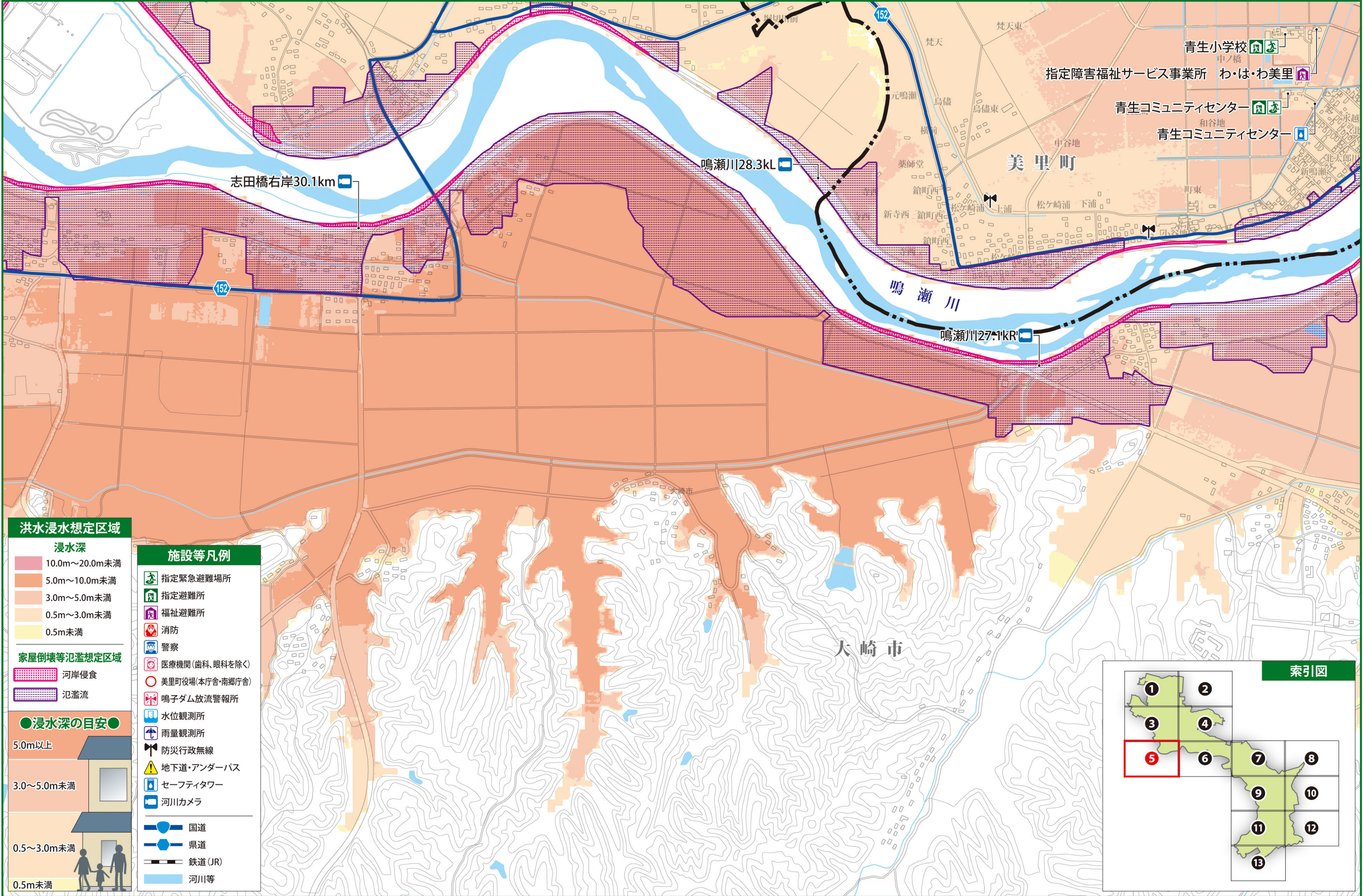
施設等凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防
- 警察
- 医療機関(歯科、眼科を除く)
- 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
- 鳴子ダム放流警報所
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 地下道・アンダーパス
- セーフティタワー
- 河川カメラ
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)
- 河川等

索引図



洪水・土砂災害ハザードマップ⑤



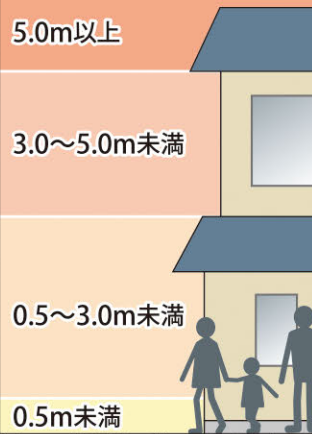
洪水浸水想定区域

- 浸水深
- 10.0m～20.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

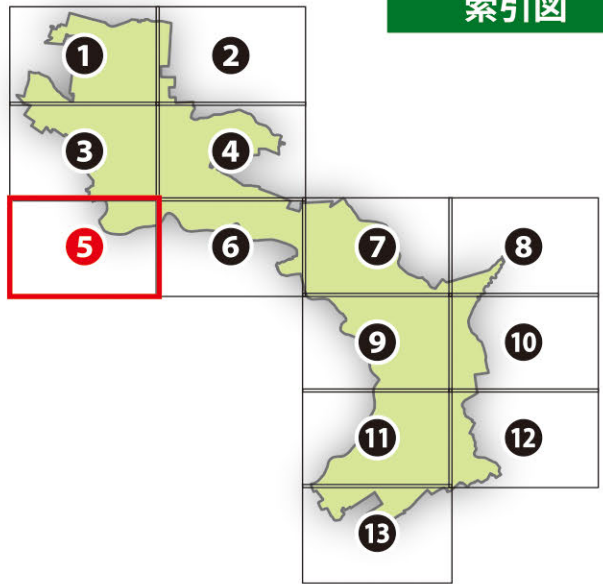
●浸水深の目安●



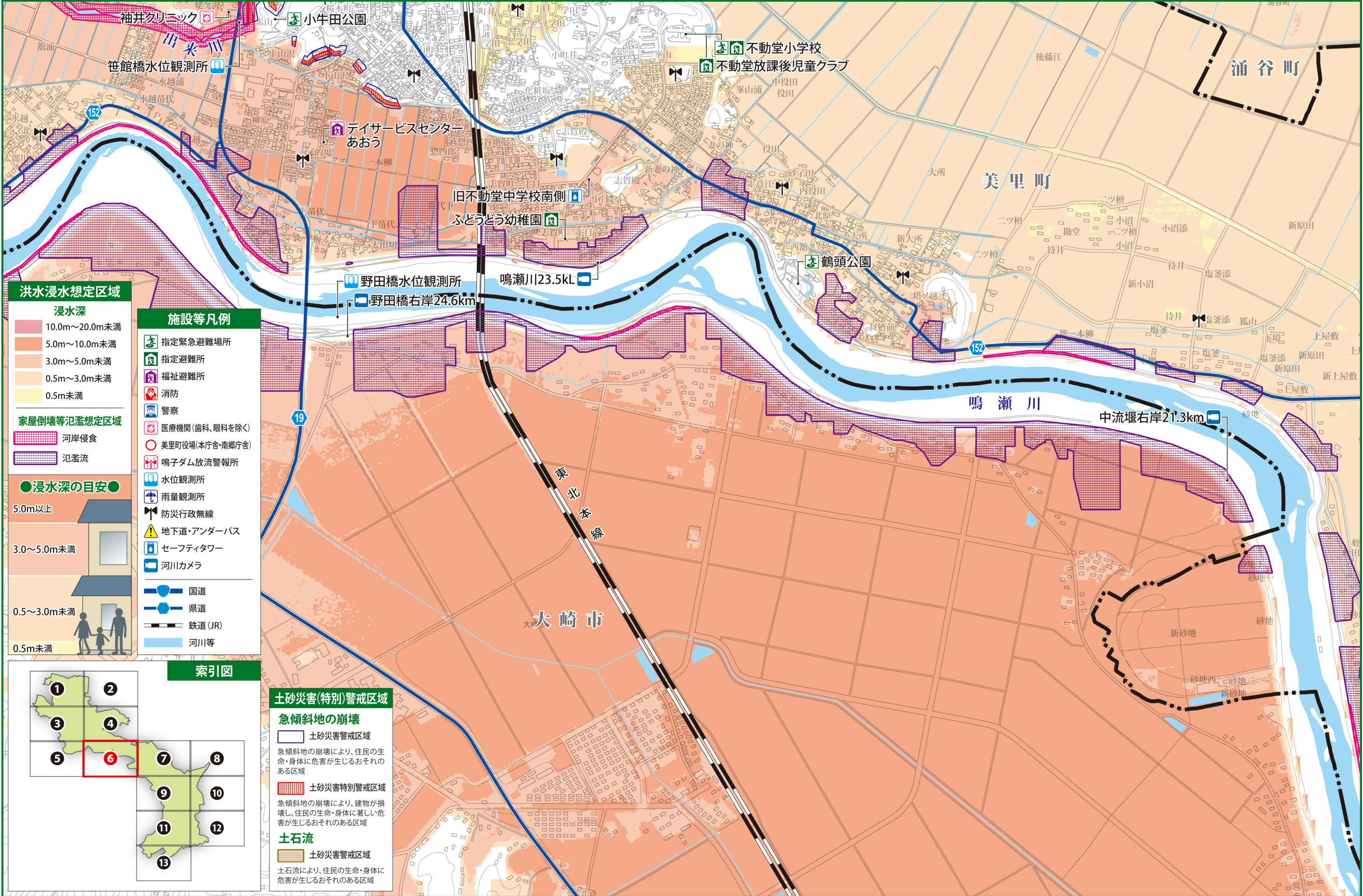
施設等凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防
- 警察
- 医療機関(歯科、眼科を除く)
- 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
- 鳴子ダム放流警報所
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 地下道・アンダーパス
- セーフティタワー
- 河川カメラ
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)
- 河川等

索引図



洪水・土砂災害ハザードマップ⑥



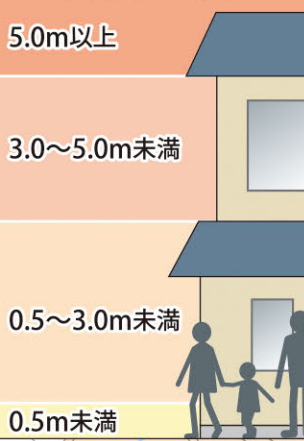
洪水浸水想定区域

- 浸水深
- 10.0m～20.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

●浸水深の目安●

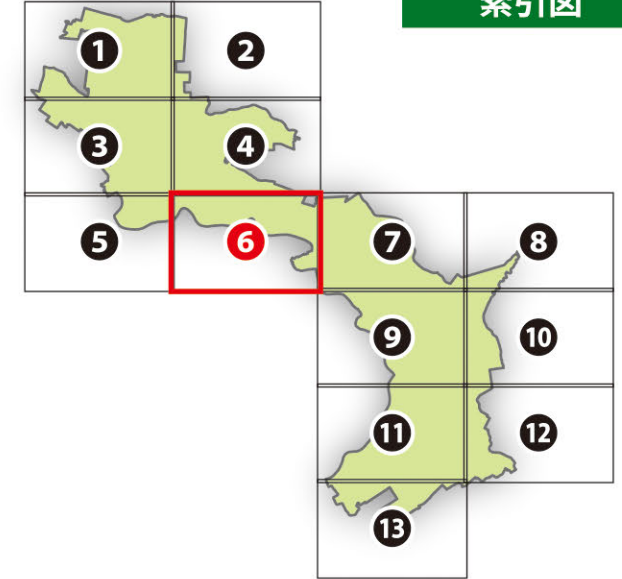


施設等凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防
- 警察
- 医療機関(歯科、眼科を除く)
- 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
- 鳴子ダム放流警報所
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 地下道・アンダーパス
- セーフティタワー
- 河川カメラ

- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)
- 河川等

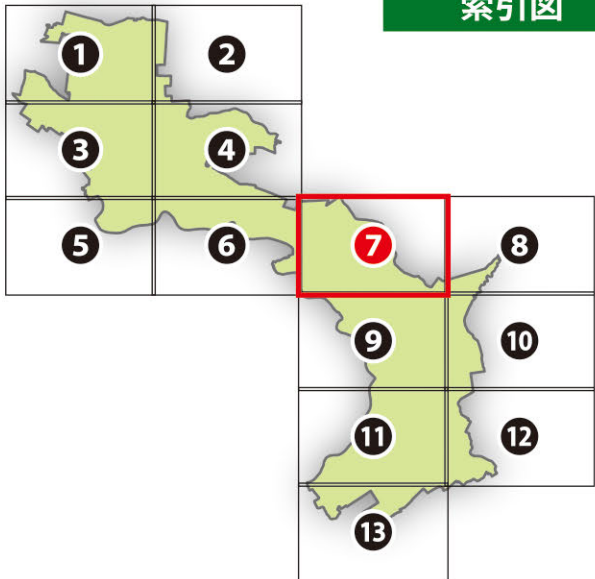
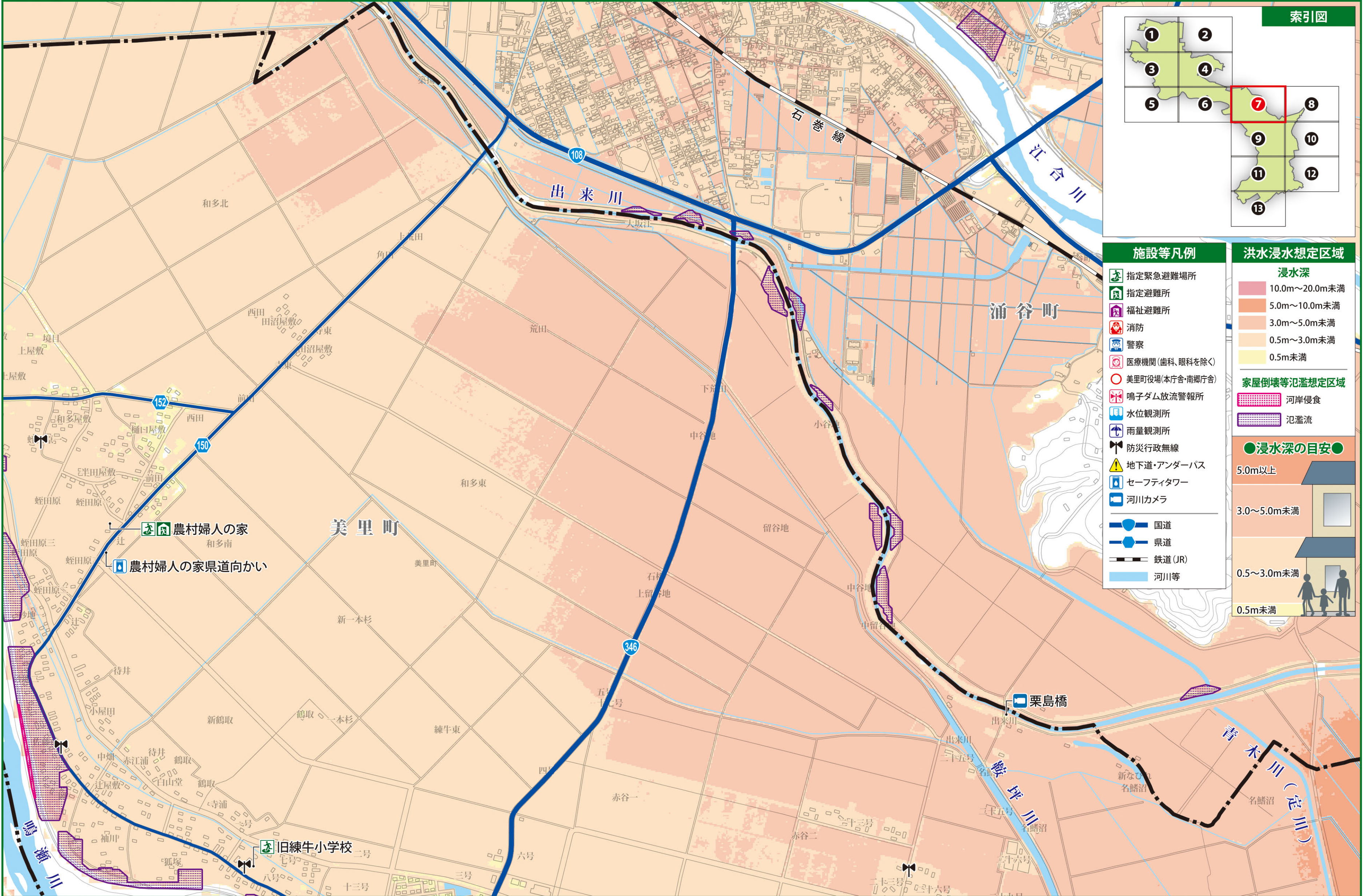
索引図



土砂災害(特別)警戒区域

- 急傾斜地の崩壊
- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地の崩壊により、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊により、建物が損壊し、住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある区域
- 土石流
- 土砂災害警戒区域
- 土石流により、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域

洪水・土砂災害ハザードマップ⑦



施設等凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防
- 警察
- 医療機関(歯科、眼科を除く)
- 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
- 鳴子ダム放流警報所
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 地下道・アンダーパス
- セーフティタワー
- 河川カメラ
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)
- 河川等

洪水浸水想定区域

浸水深

- 10.0m~20.0m未満
- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 0.5m~3.0m未満
- 0.5m未満

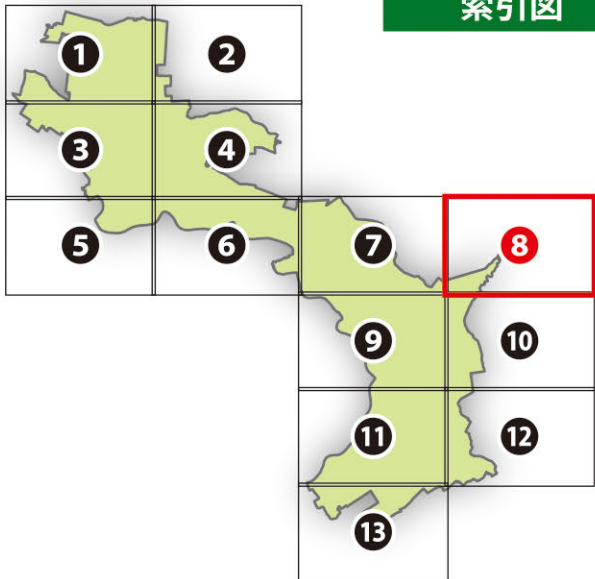
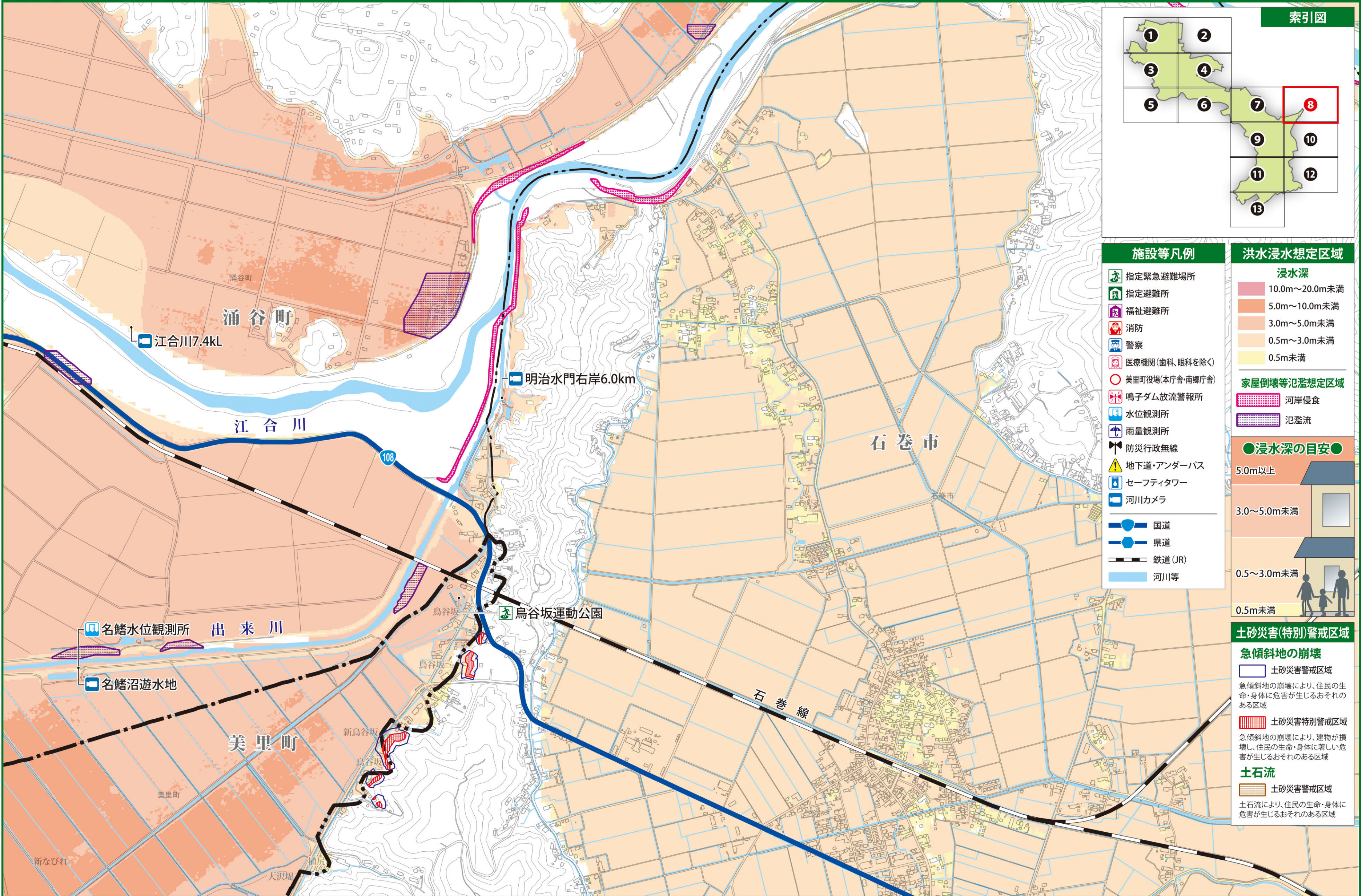
家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

●浸水深の目安●

- 5.0m以上
- 3.0~5.0m未満
- 0.5~3.0m未満
- 0.5m未満

洪水・土砂災害ハザードマップ⑧



- 施設等凡例
- 指定緊急避難場所
 - 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 消防
 - 警察
 - 医療機関(歯科、眼科を除く)
 - 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
 - 鳴子ダム放流警報所
 - 水位観測所
 - 雨量観測所
 - 防災行政無線
 - 地下道・アンダーパス
 - セーフティタワー
 - 河川カメラ
 - 国道
 - 県道
 - 鉄道(JR)
 - 河川等

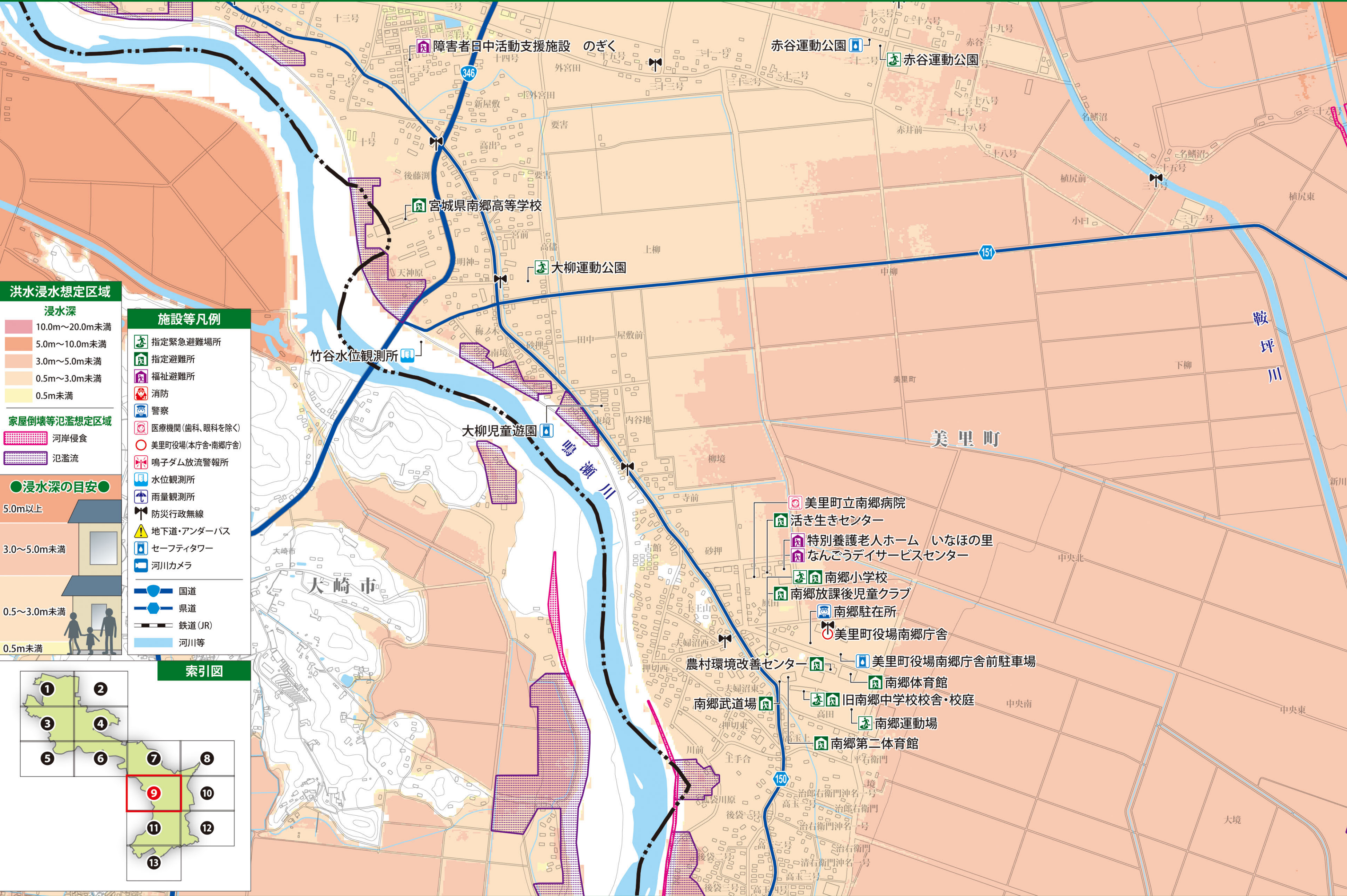
- 洪水浸水想定区域
- 浸水深
- 10.0m~20.0m未満
 - 5.0m~10.0m未満
 - 3.0m~5.0m未満
 - 0.5m~3.0m未満
 - 0.5m未満

- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河岸侵食
 - 氾濫流

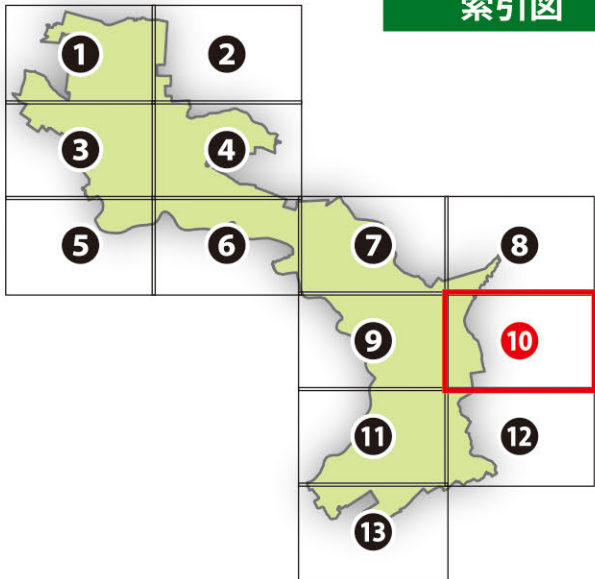
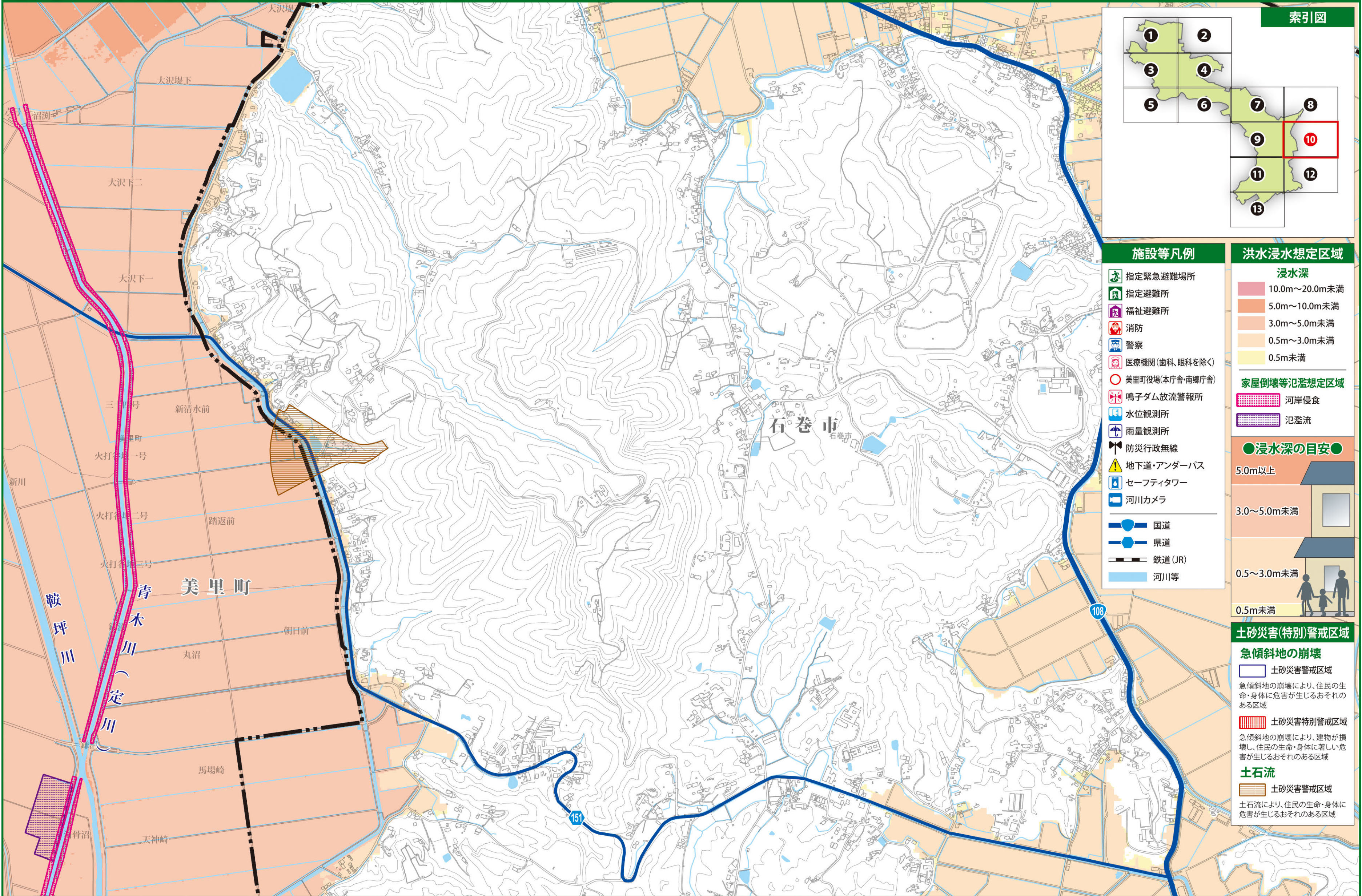


- 土砂災害(特別)警戒区域
- 急傾斜地の崩壊
- 土砂災害警戒区域
急傾斜地の崩壊により、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域
 - 土砂災害特別警戒区域
急傾斜地の崩壊により、建物が損壊し、住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある区域
- 土石流
- 土砂災害警戒区域
土石流により、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域

洪水・土砂災害ハザードマップ⑨



洪水・土砂災害ハザードマップ⑩



施設等凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防
- 警察
- 医療機関(歯科、眼科を除く)
- 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
- 鳴子ダム放流警報所
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 地下道・アンダーパス
- セーフティタワー
- 河川カメラ
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)
- 河川等

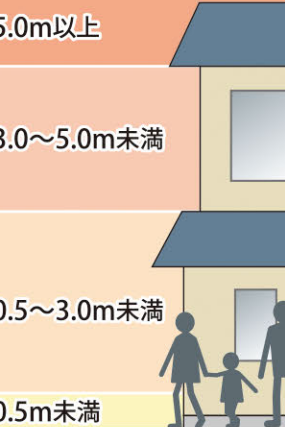
洪水浸水想定区域

- 浸水深
- 10.0m～20.0m未満
 - 5.0m～10.0m未満
 - 3.0m～5.0m未満
 - 0.5m～3.0m未満
 - 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

●浸水深の目安●



土砂災害(特別)警戒区域

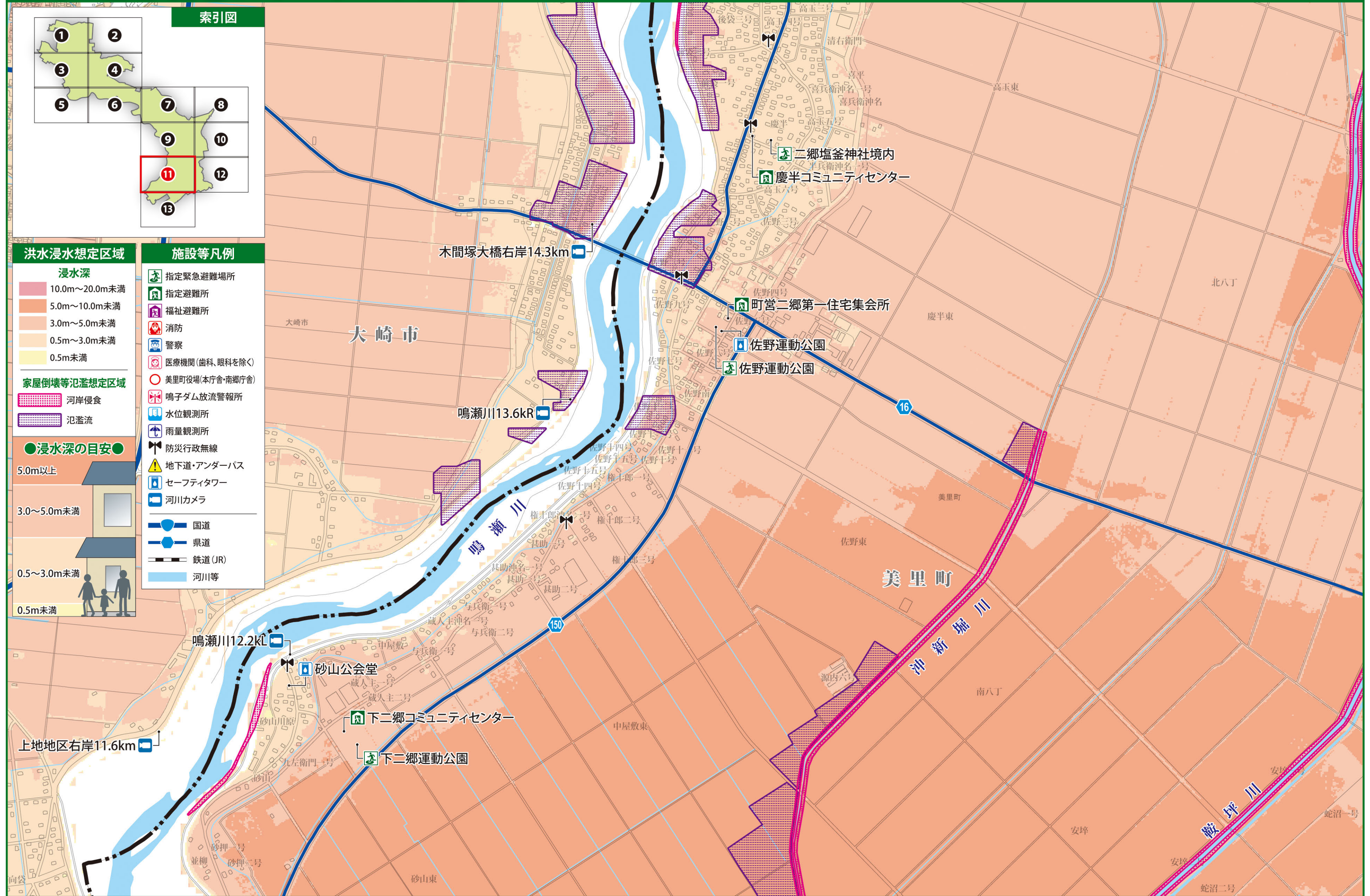
急傾斜地の崩壊

- 土砂災害警戒区域
急傾斜地の崩壊により、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域
- 土砂災害特別警戒区域
急傾斜地の崩壊により、建物が損壊し、住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

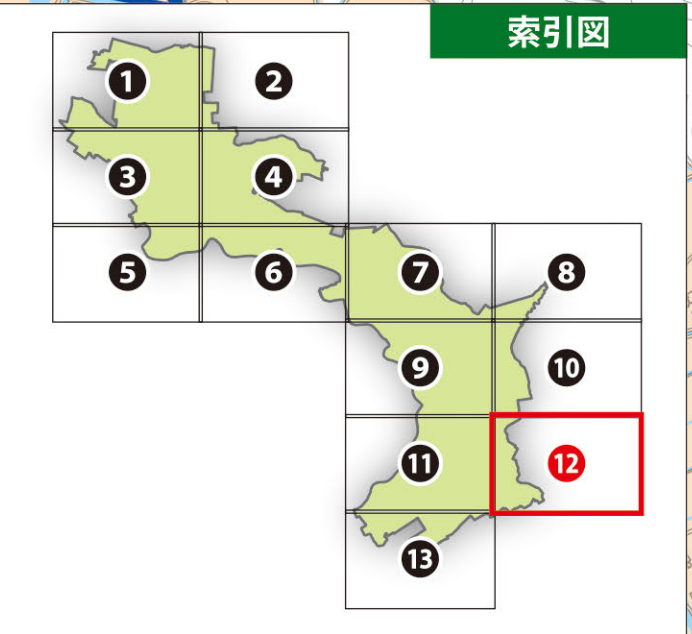
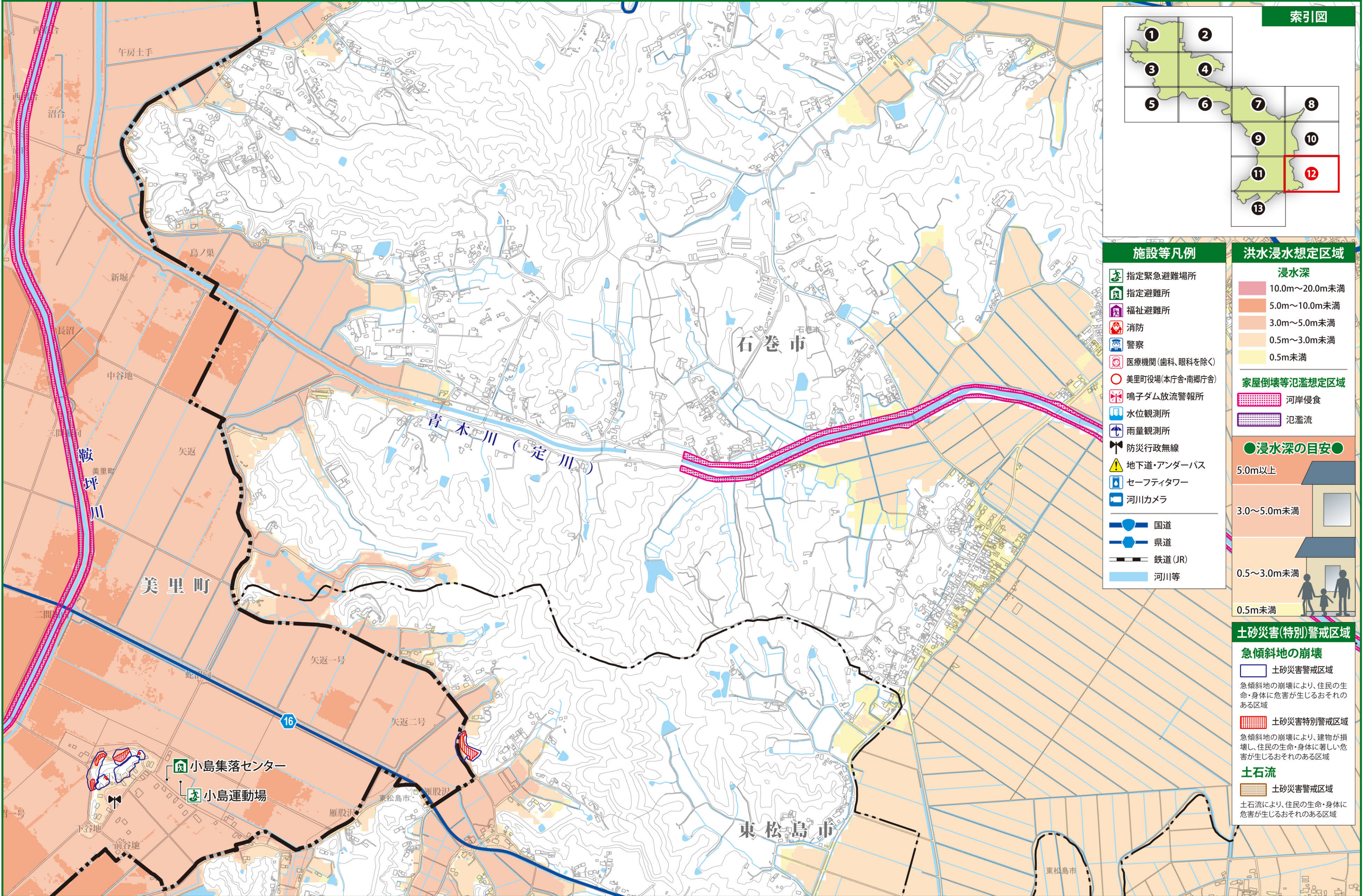
土石流

- 土砂災害警戒区域
土石流により、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域

洪水・土砂災害ハザードマップ⑪



洪水・土砂災害ハザードマップ⑫



施設等凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防
- 警察
- 医療機関(歯科、眼科を除く)
- 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
- 鳴子ダム放流警報所
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 地下道・アンダーパス
- セーフティタワー
- 河川カメラ
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)
- 河川等

洪水浸水想定区域

浸水深

- 10.0m～20.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

●浸水深の目安●

- 5.0m以上
- 3.0～5.0m未満
- 0.5～3.0m未満
- 0.5m未満

土砂災害(特別)警戒区域

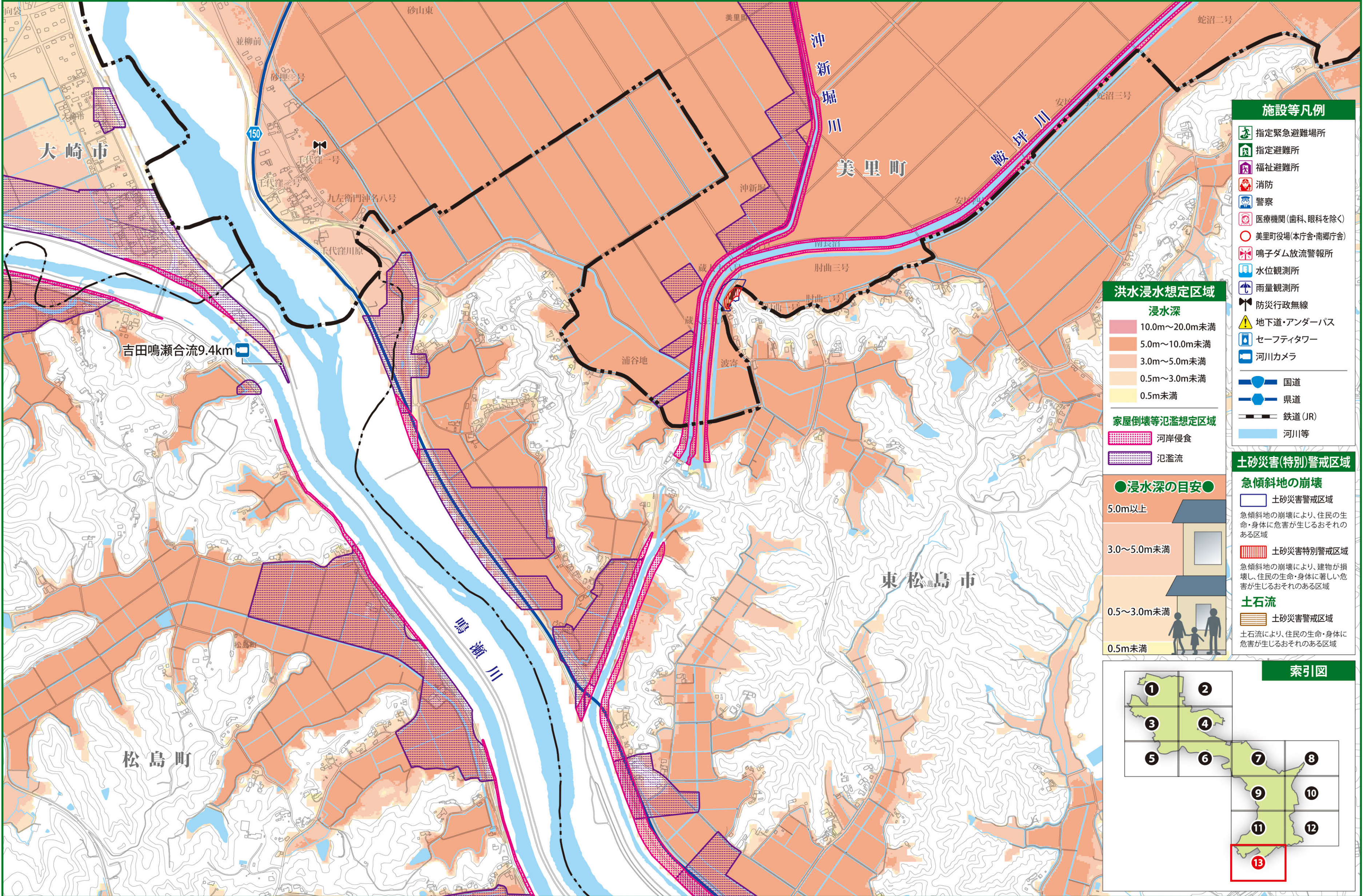
急傾斜地の崩壊

- 土砂災害警戒区域
- 急傾斜地の崩壊により、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 急傾斜地の崩壊により、建物が損壊し、住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

土石流

- 土砂災害警戒区域
- 土石流により、住民の生命・身体に危害が生じるおそれのある区域

洪水・土砂災害ハザードマップ⑬



施設等凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防
- 警察
- 医療機関(歯科、眼科を除く)
- 美里町役場(本庁舎・南郷庁舎)
- 鳴子ダム放流警報所
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 防災行政無線
- 地下道・アンダーパス
- セーフティタワー
- 河川カメラ
- 国道
- 県道
- 鉄道(JR)
- 河川等

洪水浸水想定区域

浸水深

- 10.0m～20.0m未満
- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0.5m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

●浸水深の目安●

- 5.0m以上
- 3.0～5.0m未満
- 0.5～3.0m未満
- 0.5m未満

土砂災害(特別)警戒区域

急傾斜地の崩壊

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

土石流

- 土砂災害警戒区域

索引図